『伝道会雑誌』(のちに『伝道新誌』)

巻	号	通巻	年	月	日	種別	タイトル	著者	頁数	備考
3	1	1	1890	10	21	伝道会	我全国の会員諸兄姉に告け併せて教家諸老の輯睦を望む		1	
3	1	1	1890	10	21	論説	教会政治論	賛成会員　武田篤初	6	
3	1	1	1890	10	21	論説	仏種伝播の急務を論す	同盟会員　石井苔巌	9	
3	1	1	1890	10	21	論説	高遠に驚る勿れ鄙陋に安する勿れ	賛成会員　勢南散人	12	
3	1	1	1890	10	21	説話	因果の説	賛成会員　武田篤初	15	
3	1	1	1890	10	21	説話	第三高等中学演説	賛成会員　赤松連城	18	
3	1	1	1890	10	21	講義	法華経題字講義	賛成会員　斉藤聞精	22	
3	1	1	1890	10	21	蒐録	同盟会員隅部周造、八田宋隆、獅子堂隆壽、高岡誠顕、石葉順了諸氏を吊するの友	同盟会員　戸田定壽	26	
3	1	1	1890	10	21	蒐録	祝電道子病起序	同盟会員　木山定生	29	
3	1	1	1890	10	21	蒐録	寄真宗青年伝道会員	在印度同盟会員　川上柳洲	30	
3	1	1	1890	10	21	蒐録	読浮屠月性伝	賛成会員　柳堂逸史	30	
3	1	1	1890	10	21	寄書	歴史と哲学の勧恵	賛成会員　中西牛朗	31	
3	1	1	1890	10	21	寄書	文学察に就いて一言す	山本洞観居士	33	
3	1	1	1890	10	21	雑報	13件		35	
3	1	1	1890	10	21	本会報告				
4	2	2	1891	2	21	伝導会	青年学佛の士須く立志を先んぞべし		1	
4	2	2	1891	2	21	論説	能く疑うは知悟の始	賛成会員　服部卯之吉	5	
4	2	2	1891	2	21	論説	御注文の醜婦(二)	賛成会員　天口子稿	8	
4	2	2	1891	2	21	説話	大学林内学院法話	賛成会員　松島菩海	9	1
4	2	2	1891	2	21	説話	第三高等中学校生仏教青年会創立一周年賀会演説概要	文学士　徳永満之君	15	
4	2	2	1891	2	21	講義	法華経題名講義(承前)	故勧學　百叡師説、斎藤聞精筆録	18	
4	2	2	1891	2	21	雑録	仏遺教経序文	賛成会員　柳澤政太郎	19	
4	2	2	1891	2	21	雑録	寄生田得能書	賛成会員　佐々木抑堂	20	
4	2	2	1891	2	21	雑録	伝道会雑誌再刊を祝す	在印度同盟会員　徳澤智恵蔵、川上貞信	22	
4	2	2	1891	2	21	雑録	祝同盟会員、島田敬順、藤井香暁、木下満忠、立川照俊諸氏之大学林卒業文		23	
4	2	2	1891	2	21	雑録	第三高等中学校生仏教青年会創立一周年賀祝詞	正会員　高橋慶太朗	24	
4	2	2	1891	2	21	雑録	次島地黙雷師読珠堂日野凄氏贈曇摩鉢羅詩瑤韻以代評語	六十一翁　蓮舶小栗栖香頂	25	
4	2	2	1891	2	21	雑録	題松以欽仰　宗祖大師之愍徳	正会員　小泉春樹	25	
4	2	2	1891	2	21	批評	教海中親著略評	無能山人	25	
4	2	2	1891	2	21	格言	簡擇師友要心		26	
4	2	2	1891	2	21	格言	誹謗八法誡		26	
4	2	2	1891	2	21	質疑答案	第一号第四年答案	在京都　日下大癡	26	
4	2	2	1891	2	21	質疑答案	第四年第一号答案	在京都　朝日保寧	27	
4	2	2	1891	2	21	寄書	二大宗教の衝突	賛成会員　中西牛耶	27	
4	2	2	1891	2	21	雑報	12件		29	
4	2	2	1891	2	21	本会報告	広告			
4	3	3	1891	3	21	伝道会	青年学仏の士須く立志を先ずるべし(詞前)		1	
4	3	3	1891	3	21	論説	関節伝道に就いて	戸城伝七郎	5	
4	3	3	1891	3	21	論説	社会改良の事如何	堀内静宇	8	
4	3	3	1891	3	21	論説	心中森雖偶像を蔵するも一執着を為す可からず	武田篤初	12	
4	3	3	1891	3	21	論説	夢の説(第1回)	文学士　服部宇之吉	14	
4	3	3	1891	3	21	論説	楔伽山阿毘達磨蔵	在榜伽山　川上貞信	18	
4	3	3	1891	3	21	講義	法華経題名抗議(承前)	古勧学　百叡師説、斎藤聞精筆録	19	
4	3	3	1891	3	21	法話	九州仏教倶楽部に於ける法話	赤松連城	23	
4	3	3	1891	3	21	法話	不邪淫戒	加藤恵証	26	
4	3	3	1891	3	21	雑録	異部宗輪論述記発軔自序	真衆後学　釋憲榮畔■	29	文字潰れ
4	3	3	1891	3	21	雑録	選擇集章目略頌	故勧学　宏違師撰	30	
4	3	3	1891	3	21	雑録	三家義別略頌	作者未詳	30	
4	3	3	1891	3	21	雑録	観清狂道人剣舞図四首　節録三首	同盟会員　珠堂日野湊	30	
4	3	3	1891	3	21	雑録	春暁聞鶯	同盟会員　山本願道	31	
4	3	3	1891	3	21	雑録	春遊	故　野田興顕	31	
4	3	3	1891	3	21	雑録	龍谷諸哲の墳墓に詣して感あり	同盟会員　清水尚雄稿	31	
4	3	3	1891	3	21	格言	五常の歌(其外数件)	慈鎮和尚作	31	
4	3	3	1891	3	21	質疑応答	第四年第一号(4)答案	在京都　弓波定壽	32	
4	3	3	1891	3	21	質疑応答	質疑	会員一、二、三	33	
4	3	3	1891	3	21	雑報			34	
4	3	3	1891	3	21	本会報告	広告			
4	4	4	1891	3	24	伝道会	仏教の真理を発揮すべし		1	
4	4	4	1891	3	24	論説	遺教の一則	文学博士　南條文雄	6	
4	4	4	1891	3	24	論説	学生に檄す	溝部實磨	8	
4	4	4	1891	3	24	論説	夢の説	文学博士　服部宇之吉	13	
4	4	4	1891	3	24	論説	楔伽山阿毘達磨蔵	在楞伽山　川上貞信	16	
4	4	4	1891	3	24	論説	法華経題名抗議(承前)故勧学	故勧学　百叡師説、斎藤聞精筆録	18	
4	4	4	1891	3	24	法話	真俗二諦	賛成会員　赤松連城	21	
4	4	4	1891	3	24	雑録	帰西山松家荘記	賛成会員　武田震陽	28	
4	4	4	1891	3	24	雑録	賊首尾吟贈踏氷戸田君	同盟会員　溝部豊南	28	
4	4	4	1891	3	24	雑録	遡嵐峡到亀岡舟中之作	正会員　西脇興題	29	
4	4	4	1891	3	24	雑録	感慨		29	
4	4	4	1891	3	24	雑録	庚寅歳晩書懐十五絶	正会員　飛島碩也	29	
4	4	4	1891	3	24	雑録	迷学友本山定生君帰国	同盟会員　珠堂日野湊	30	
4	4	4	1891	3	24	雑録	四月十二日侵雨遊嵐山	正会員　大原哲丸	30	
4	4	4	1891	3	24	雑録	同		31	
4	4	4	1891	3	24	批評	無量壽教大意を読む	賛成会員　仰信居士	31	
4	4	4	1891	3	24	批評	頂門一針を評す	賛成会員　東山迂夫	32	
4	4	4	1891	3	24	格言	離■悪語妙行		32	文字潰れ
4	4	4	1891	3	24	格言	離雑穢語妙行		32	
4	4	4	1891	3	24	格言	言過		33	
4	4	4	1891	3	24	質疑応答	第四年第三号(6)	在京都　弓波定壽	33	
4	4	4	1891	3	24	質疑応答	質疑	在京都　YM生	34	
4	4	4	1891	3	24	雑報			34	
4	4	4	1891	3	24	本会報告				
4	4	4	1891	3	24	広告				
	1	1	1888	6	23	伝道会	本会旨義の一班		1	
	1	1	1888	6	23	論説	祝詞	菅了法	6	
	1	1	1888	6	23	論説	呈有爲活溌僧侶諸士	和田義軌	12	
	1	1	1888	6	23	論説	宗教論	生駒藤太郎	13	
	1	1	1888	6	23	講義	縁起一斑	斉藤聞精	15	
	1	1	1888	6	23	講義	如來説法義	浅見暢堂	17	
	1	1	1888	6	23	雑録	ナップ氏と赤松氏との問答		19	
	1	1	1888	6	23	雑録	七値を求めるの法	佐久間信恭	21	
	1	1	1888	6	23	雑録	祝辞	武田篤初	24	
	1	1	1888	6	23	雑録	同	小野正巳	25	
	1	1	1888	6	23	雑録	歌二首	藤井玄珠	25	
	1	1	1888	6	23	雑録	詩一首セッファード		25	
	1	1	1888	6	23	雑報			26	

	1	1	1888	6	23	本会軌持並報告			30	
	1	1	1888	6	23	稟告				
	2	2	1888	7	21	伝道会	仏教の現象		1	
	2	2	1888	7	21	講義	真如覚知有無の説	斉藤聞精	7	
	2	2	1888	7	21	講義	是心作仏是心是仏	伊井智量	9	
	2	2	1888	7	21	講義	信心仏住	名和宗■	11	
	2	2	1888	7	21	論説	賀青年伝道会設立併乞諸子注意島	島地默雷	12	
	2	2	1888	7	21	論説	覚悟せよ我青年党	間山達玄	16	
	2	2	1888	7	21	論説	社会学の管見	菊池熊太郎	19	
	2	2	1888	7	21	雑録	耶蘇復活日を求めるの法	佐久間信恭	22	
	2	2	1888	7	21	雑録	東洋道徳訓言序	菅了法	24	
	2	2	1888	7	21	雑録	真正の理学と真正の宗教	ハクスレイ	25	
	2	2	1888	7	21	雑報			25	
	2	2	1888	7	21	本会記事並報告			29	
	2	2	1888	7	21	広告				
	3	3	1888	8	21	伝道会	現時仏教に対する方針		1	
	3	3	1888	8	21	論説	教法の前途に就いて意見	菅了法	7	
	3	3	1888	8	21	論説	宗教論（承第一号）	生駒藤太郎	13	
	3	3	1888	8	21	論説	蓄妻噉肉論	竹内保寧	17	
	3	3	1888	8	21	講義	縁起一斑（接第一号）	斉藤聞精	20	
	3	3	1888	8	21	講義	如來説法（接第一号）	浅見暢堂	23	
	3	3	1888	8	21	雑録	通俗十七宗綱要序論	田嶋象二	24	
	3	3	1888	8	21	雑録	祝辞	武田篤初	28	
	3	3	1888	8	21	雑録	同	小野正巳	29	
	3	3	1888	8	21	雑報			33	
	3	3	1888	8	21	本会記事並報告				
	3	3	1888	8	21	広告				
	4	4	1888	9	21	伝道会	我れ時を追うも時をして我れを追いしむる勿れ		1	
	4	4	1888	9	21	講義	霊魂不滅		7	
	4	4	1888	9	21	講義	如來説法義（接前）	浅見暢堂	10	
	4	4	1888	9	21	論説	六哲論附四論	巽義知	12	
	4	4	1888	9	21	論説	仏教と道徳	南此農夫	15	
	4	4	1888	9	21	雑録	有馬温泉行の感	田辺正直	20	
	4	4	1888	9	21	雑録	聖道權化方便の話	故泰巖師	22	
	4	4	1888	9	21	雑録	詩三首		23	
	4	4	1888	9	21	雑報			24	
	4	4	1888	9	21	本会報告			34	
	4	4	1888	9	21	広告				
	5	5	1888	10	21	伝道会	我れ時を追うも時をして我れを追いしむる勿れ（前接）		1	
	5	5	1888	10	21	講義	真如覚知有無の説（承第二号）	斉藤聞精	9	
	5	5	1888	10	21	論説	伝道者の心得	赤松連城	11	
	5	5	1888	10	21	論説	社会の進歩と仏教の進歩	溝部實麿	14	
	5	5	1888	10	21	論説	国教果して設くべき乎	鎌田淵海	16	
	5	5	1888	10	21	雑録	ビケロー氏と松浦雷響氏の性復書幹並附言		19	
	5	5	1888	10	21	雑録	基督教公許の建白（靜堂）		22	
	5	5	1888	10	21	海外宣教録事	記事		24	
	5	5	1888	10	21	海外宣教録事	ファッチクチェリー氏の書幹		26	
	5	5	1888	10	21	雑報			27	
	5	5	1888	10	21	本会記事並報告			35	
	5	5	1888	10	21	広告				
	6	6	1888	11	21	伝道会	我れ時を追うも時をして我れを追いしむる勿れ（前接）		1	
	6	6	1888	11	21	講義	信心仏性	名和宗■	7	文字潰れ
	6	6	1888	11	21	論説	伝道の基礎	赤松連城		
	6	6	1888	11	21	論説	日本固有の性質	暉峻堂主人	13	
	6	6	1888	11	21	論説	此れ彼れを殺すに非れは彼れ必ず此れを殺さん	隈井求馬	16	
	6	6	1888	11	21	雑録	輪廻論第一第二	岡村周薩	20	
	6	6	1888	11	21	雑録	詩二首		23	
	6	6	1888	11	21	海外宣教録事	チェチェン、マーキュフ氏の書幹		23	
	6	6	1888	11	21	海外宣教録事	記事		24	
	6	6	1888	11	21	雑報			25	
	6	6	1888	11	21	本会記事並報告			35	
	6	6	1888	11	21	広告				
	7	7	1888	11	21	伝道会	明治二十一年を送る		1	
	7	7	1888	11	21	講義	是心作仏是心是仏（承第二号）	伊井智量	7	
	7	7	1888	11	21	論説	東洋政治宗教沿革史	巽義知		本文無し、目次のみ
	7	7	1888	11	21	論説	仏教者国会の準備	九日堂主人	15	
	7	7	1888	11	21	論説	英雄宗教論	溝部實麿	16	
	7	7	1888	11	21	雑録	輪廻第三第四（承前）	岡村周薩	19	
	7	7	1888	11	21	海外宣教会録事	耶蘇教不信者の批評	故泰巖師	23	
	7	7	1888	11	21	雑報			24	
	7	7	1888	11	21	本会記事並報告			34	
	7	7	1888	11	21	広告				
	8	8	1889	1	21	伝道会	伝道者の三注意		1	
	8	8	1889	1	21	講義	縁起一斑（第三号の続き）	斉藤聞精	4	
	8	8	1889	1	21	論説	実力養うむさる可らを	生駒藤太郎	8	
	8	8	1889	1	21	論説	決闘論	東雲漂仙	11	
	8	8	1889	1	21	論説	敢えて將来み大学林に望む	戸田定壽	14	
	8	8	1889	1	21	雑録	真如縁起の問に答う		18	
	8	8	1889	1	21	雑録	懐遠行	故廓亮大徳	19	
	8	8	1889	1	21	雑録	同次韵	村上碩次郎	20	
	8	8	1889	1	21	雑録	送曜日蒼龍子之布哇国	東陽圓月	21	
	8	8	1889	1	21	雑録	寄楳釋教二首	斉藤聞精	21	
	8	8	1889	1	21	雑報			22	
	8	8	1889	1	21	本会報告			33	
	8	8	1889	1	21	広告				
	9	9	1889	2	21	伝道会	伝道者の三注意（承前）		1	
	9	9	1889	2	21	講義	如來説法義（第四号の続き）	浅見暢堂	6	
	9	9	1889	2	21	論説	余り仏教を信ずる所以	オルコット	9	
	9	9	1889	2	21	論説	実力養いさる可らず（接前）	生駒藤太郎	12	
	9	9	1889	2	21	論説	決闘論（承前）	東雲漂仙	14	
	9	9	1889	2	21	雑録	大学林に於るオルコット氏の演説		17	
	9	9	1889	2	21	雑録	入蝦紀略（其一）	本多澄雲	19	
	9	9	1889	2	21	雑録	叡山行	溝部實麿	21	
	9	9	1889	2	21	雑報			22	
	9	9	1889	2	21	本会記事並報告			33	

	9	9	1889	2	21	広告				
	10	10	1889	3	21	伝道会	特立せよや独立せよ		1	
	10	10	1889	3	21	講義	縁起一斑（第八号の続き）	斉藤聞精	5	
	10	10	1889	3	21	論説	仏教の大意	大洲鐵然	8	
	10	10	1889	3	21	論説	所感を陳て普く同胞信徒に告ぐ	生駒藤太郎	11	
	10	10	1889	3	21	論説	仏教と婦人	岡村周薩	15	
	10	10	1889	3	21	雑録	仏教分類法	前田慧雲	17	
	10	10	1889	3	21	雑録	オルコット氏と阿満聞得との対活		18	
	10	10	1889	3	21	雑録	入蝦紀略（其一）（承前）	本多澄雲	20	
	10	10	1889	3	21	雑録	勧孝要談自序	中村果園	21	
	10	10	1889	3	21	雑録	少年行	豐南閑人	22	
	10	10	1889	3	21	雑報			22	
	10	10	1889	3	21	本会報告			33	
	10	10	1889	3	21	広告				
	11	11	1889	4	21	伝道会	時ある時に時を得よ		1	
	11	11	1889	4	21	講義	国土論	堤山暢堂	5	
	11	11	1889	4	21	論説	伝道者の分任	人見松渓	8	
	11	11	1889	4	21	論説	憲法第二十八條を読む	戸田定壽	11	
	11	11	1889	4	21	論説	我邦の農学を賤視する者の多きを抑も何等の原因に由るや	生駒藤太郎	13	
	11	11	1889	4	21	論説	聞其名号	七里恒順	16	
	11	11	1889	4	21	論説	何をか魔と云う	蟹谷永成	17	
	11	11	1889	4	21	雑録	迷悟差別	熱田靈知	18	
	11	11	1889	4	21	雑録	入蝦紀略（其一）（承前）	本多澄雲	21	
	11	11	1889	4	21	雑録	漫吟	鈴木鱸生	23	
	11	11	1889	4	21	雑報			23	
	11	11	1889	4	21	本会報告			33	
	11	11	1889	4	21	広告				
	12	12	1889	5	21	伝道会	降誕会と一周紀年		1	
	12	12	1889	5	21	講義	縁起一斑（第十号を承く）	斉藤聞精	5	
	12	12	1889	5	21	論説	祈禱論	鱸天游	8	
	12	12	1889	5	21	論説	快男子活眼を遠近に注げ	凌波逸士	10	
	12	12	1889	5	21	論説	伝道者の分任（接前）	人見松渓	13	
	12	12	1889	5	21	説話	終極の目的	斉藤聞精	16	
	12	12	1889	5	21	説話	何をか魔と云う（接前）	蟹谷永成	18	
	12	12	1889	5	21	雑録	童女迦葉と弊宿婆羅門との問答		20	
	12	12	1889	5	21	雑録	少女の心得	ダンマバラ	21	
	12	12	1889	5	21	雑録	山犬	夢樓山人	22	
	12	12	1889	5	21	雑報			24	
	12	12	1889	5	21	本会報告			33	
	12	12	1889	5	21	広告				
	12	12	1889	5	21	附録	宗制寺法			
	13	13	1889	6	21	伝道会	教会組織		1	
	13	13	1889	6	21	論説	真如生滅	同盟会員　堤山暢堂	5	
	13	13	1889	6	21	論説	勧誡小言	賛成会員　香川篠晃	7	
	13	13	1889	6	21	論説	快男子活眼を遠近に注げ（承前）	同盟会員　凌波逸士	10	
	13	13	1889	6	21	論説	我邦の農学を賤視する者の多きは抑も何等の原因に由るや（接第十一号）	賛成会員　生駒藤太郎	13	
	13	13	1889	6	21	説話	心の病	賛成会員　赤松蓮城	16	
	13	13	1889	6	21	説話	之を知れるを以って真宗のしるしとす	賛成会員　道遥散史	19	
	13	13	1889	6	21	雑録	東西心理略評	谷口静吉	22	
	13	13	1889	6	21	雑録	聴雄氏演説有感	正会員　小泉塵芥	24	
	13	13	1889	6	21	雑録	贈曇摩鉢羅氏	同盟会員　日野湊	24	
	13	13	1889	6	21	雑録	祝伝道会一周年	賛成会員　松島善海	25	
	13	13	1889	6	21	雑録	送川上徳澤両氏留学錫蘭嶋	同盟会員　館青州	25	
	13	13	1889	6	21	雑録	送川上貞信子之印度	賛成会員　利井明朗	25	
	13	13	1889	6	21	雑報	15件		26	
	13	13	1889	6	21	本会記事並報告			33	
	13	13	1889	6	21	広告				
	14	14	1889	7	16	伝道会	惜しむべし総代議会		1	
	14	14	1889	7	16	講義	真如生滅	同盟会員　堤山暢堂	4	
	14	14	1889	7	16	論説	誰か仏教を欧米に伝播するや	同盟会員　戸田定壽	6	
	14	14	1889	7	16	論説	真宗を世外教と云うは如何なる人ぞや	同盟会員　豊南生	8	
	14	14	1889	7	16	論説	伝道者の分任（承前）	賛成会員　人見松渓	10	
	14	14	1889	7	16	説話	心の病（承前）	賛成会員　赤松蓮城	12	
	14	14	1889	7	16	説話	攝抑二門	大学林教授　伊井智量	15	
	14	14	1889	7	16	雑録	迷悟差別（承第十一号）	大学林助教授　熱田靈知	17	
	14	14	1889	7	16	雑録	東西心理略評（承前）	谷口静吉	19	
	14	14	1889	7	16	雑録	祝伝道会次松島君韻	賛成会員　梁瀬我聞	22	
	14	14	1889	7	16	雑録	送会友川上氏於印度	同盟会員　豊南生	22	
	14	14	1889	7	16	雑報	26件		23	
	14	14	1889	7	16	本会記事並広告			33	
	14	14	1889	7	16	広告				
	15	15	1889	8	21	伝道会	改革者を須らく公明正大の心を取れ		1	
	15	15	1889	8	21	伝道会	青年の気象		2	
	15	15	1889	8	21	論説	節倫会の必要	文学史　井上圓了	4	
	15	15	1889	8	21	論説	仏教と国家との関係	同盟会員　熊野靈達	5	
	15	15	1889	8	21	講義	縁起一斑	大学林教授　斎藤聞精	6	
	15	15	1889	8	21	説話	何ぞ片輪の繁殖を防がざる	同盟会員　蟹谷永成	12	
	15	15	1889	8	21	雑録	迷悟差別	大学林助教授　熱田靈知	15	
	15	15	1889	8	21	雑録	四十八願の和歌	中野春洲	19	
	15	15	1889	8	21	雑録	感慨六律	正会員　安井承信		本文無し、目次のみ
	15	15	1889	8	21	雑録	寄川上徳澤在印度	同盟会員　戸田踏水	21	
	15	15	1889	8	21	雑録	独逸材ゲチンゲン大学博士　プエイラング氏の書簡	巽義知	22	
	15	15	1889	8	21	雑報	16件		23	
	15	15	1889	8	21	本会記事並広告			33	
	16	16	1889	9	21	伝道会	敢えて我法海の青年に諗く		1	
	16	16	1889	9	21	論説	青年の針路	同盟会員　九日堂主人	4	
	16	16	1889	9	21	論説	文明を経法の花より	黙医学士　生駒藤太郎	7	
	16	16	1889	9	21	講義	真如生滅	同盟会員　堤山暢堂	9	
	16	16	1889	9	21	講義	真如法界	同盟会員　日渓僧駿	11	
	16	16	1889	9	21	説話	何を片輪の繁殖を防がざる	同盟会員　蟹谷永成	13	
	16	16	1889	9	21	雑録	迷悟差別	大学林助教授　熱田靈知	16	
	16	16	1889	9	21	雑録	四十八願の和歌	中山春洲	19	
	16	16	1889	9	21	雑録	印度国	同盟会員　坂口祐道	21	
	16	16	1889	9	21	雑報	１８件		23	
	16	16	1889	9	21	本会記事並広告			33	
	17	17	1889	10	21	伝道会	内地雑居に就いて仏教家の準備		1	
	17	17	1889	10	21	論説	勧誡小言	賛成会員　香川葆晃	9	
	17	17	1889	10	21	論説	青年の本尊	同盟会員　隈井求馬	12	

	17	17	1889	10	21	論説	禮讓を尊ぶべきを論ず	賛成会員　武田篤初	15	
	17	17	1889	10	21	論説	仏教現時の教育を論じ併せて法海の諸老に望む	同盟会員　戸田定壽	17	
	17	17	1889	10	21	講義	真如生滅	同盟会員　堤山暢堂	20	
	17	17	1889	10	21	論説	明経院師法語　1編		22	
	17	17	1889	10	21	論説	攝抑二門	大学林教授　伊井智量	25	
	17	17	1889	10	21	雑録	五事	同盟会員　金谷園主人	28	
	17	17	1889	10	21	雑録	詩　二首	賛成会員　小山憲榮	29	
	17	17	1889	10	21	雑録	同　二種	同　武田篤初	30	
	17	17	1889	10	21	雑報	19件		30	
	17	17	1889	10	21	本会記事並広告			37	
	18	18	1889	11	21	伝道会	立皇太子を祝し奉る			
	18	18	1889	11	21	伝道会	皇太子殿下御肖像			
	18	18	1889	11	21	論説	謹んで法海の教育を論ず	同盟会員　旭恢恩	1	
	18	18	1889	11	21	論説	敢て大学林と護持会に望む	正会員　小泉塵芥	5	
	18	18	1889	11	21	論説	会員諸兄姉に告ぐ	同盟会員　伊藤恵性	7	
	18	18	1889	11	21	論説	伝道会記者の精神に感じ自主力発達の必要を述ぶ	同盟会員　あさのや主人	10	
	18	18	1889	11	21	論説	教育家の本領	同盟会員　戸田踏水	12	
	18	18	1889	11	21	論説	伝道者の資格を論じ併せて教育当路の諸子に告ぐ	同盟会員　石井苔巖	15	
	18	18	1889	11	21	論説	禮讓は尊ぶべきを論ず	賛成会員　武田篤初	17	
	18	18	1889	11	21	論説	使用の方法を誤る勿れ	同盟会員　小林龍瑞	19	
	18	18	1889	11	21	論説	青年の希望	同盟会員　細馬卓雄	21	
	18	18	1889	11	21	論説	会員諸兄姉に質ぞ	同盟会員　真能漂石	23	
	18	18	1889	11	21	説話	仰誓師門弟に示さるるの■言		25	文字潰れ
	18	18	1889	11	21	雑報	21件		25	
	18	18	1889	11	21	本会報告			37	
	18	18	1889	11	21	広告				
	19	19	1889	12	21	伝道会	幕年の会		1	
	19	19	1889	12	21	論説	聊か所感を記して精神教育の必要に及ぶ	賛成会員　生駒藤太郎	4	
	19	19	1889	12	21	論説	万物生起の原則	同盟会員　木山定生	7	
	19	19	1889	12	21	論説	活眼を開きて活書を読め	同盟会員　池館速行	10	
	19	19	1889	12	21	説話	真宗の化儀	故勧学　鬼木汰洲	12	
	19	19	1889	12	21	説話	客問に答える	同盟会員　九日堂	15	
	19	19	1889	12	21	雑録	布国伝道の方針	同盟会員　曜日蒼龍	20	
	19	19	1889	12	21	雑録	一字一涙悲衰曲	同盟会員　溝部實磨	21	
	19	19	1889	12	21	雑録	外詩四題歌三首		23	
	19	19	1889	12	21	雑報	15件		23	
	19	19	1889	12	21	本会報告			1	
	19	19	1889	12	21	広告				
	20	20	1890	1	21	宗祖大師忌辰雑詠	(歌)今小路澤悟	原口針水　斎藤聞精		
	20	20	1890	1	21		(歌)今小路覚尊	岩棲興隆		
	20	20	1890	1	21		(詩)赤松連城	梁瀬我聞　松島菩讓		
	20	20	1890	1	21		(詩)溝部實磨	戸田定壽		
	20	20	1890	1	21	会説	大法主殿下の御直諭を拝聴し奉る		1	
	20	20	1890	1	21	論説	現今の僧侶を以て将来の仏教を維持するに足る可き耶	同盟会員　溝部實磨	5	
	20	20	1890	1	21	論説	学問の目的	同盟会員　梅原崇九	8	
	20	20	1890	1	21	論説	大いに女子教育を振起すべし	正会員　加藤俊治	10	
	20	20	1890	1	21	説話	真宗の化儀	故勧学　鬼木汰洲	12	
	20	20	1890	1	21	説話	三業相応	賛成会員　赤松連城	17	
	20	20	1890	1	21	雑録	已丑除夕偶感	正会員　小泉春樹	19	
	20	20	1890	1	21	雑録	氷	同盟会員　真能義淵	20	
			1890	1	21	雑録	自適	正会員　松山成章	20	
			1890	1	21	雑録	病中作	賛成会員　石田道人	20	
	20	20	1890	1	21	雑録	読高山　九朗伝	正会員　自笑山人	20	
	20	20	1890	1	21	雑録	迎年迎世	正会員　日種宗賢	21	
	20	20	1890	1	21	雑録	夢	藤井いわ尾	21	
	20	20	1890	1	21	雑報	17件		21	
	20	20	1890	1	21	本会報告			33	
	20	20	1890	1	21	広告				
	21	21	1890	2	21	伝道会	本年我仏教者を宜しく如何運動すべきや		1	
	21	21	1890	2	21	論説	勧誡小言	賛成会員　香川葆晃	5	
	21	21	1890	2	21	論説	還俗者にうきて	正会員　長廻忠太郎	8	
	21	21	1890	2	21	説話	慈善の話	賛成会員　赤松連城	9	
	21	21	1890	2	21	説話	第三高等中学仏教世年会演説	文学士　徳永満之	12	
	21	21	1890	2	21	説話	同講和	賛成会員　斎藤聞精	15	
	21	21	1890	2	21	説話	宣布院に於いての演説	賛成会員　島地黙雷	19	
	21	21	1890	2	21	雑録	平井氏＝龍華師＝と会員某との問答		23	
	21	21	1890	2	21	雑録	吊同志社長新島襄君	同盟会員　豊南溝部生	25	
	21	21	1890	2	21	雑録	全二首	賛成会員　鈴木天遊	25	
	21	21	1890	2	21	雑録	歳且用鎌田明府高韻	正会員　本荘實	26	
	21	21	1890	2	21	雑録	磨鍼嶺	正会員　饋水櫻香	26	
	21	21	1890	2	21	雑報	17件		26	
	21	21	1890	2	21	本会報告			35	
	21	21	1890	2	21	広告				
	22	22	1890	3	21	伝道界	方今の仏者須らく図僻なる抽象的の観念を撤去すべし		1	
	22	22	1890	3	21	論説	勢力論	賛成会員　武田篤初	5	
	22	22	1890	3	21	論説	興経の策を地の利を得るに在り	同盟会員　真能漂石生	7	
	22	22	1890	3	21	論説	書生の変革	同盟会員　能野霊達	9	
	22	22	1890	3	21	説話	第三高等中学校仏教青年会演説	本願寺二等巡教使　武田篤初	11	
	22	22	1890	3	21	説話	同	文学士　徳永満之	14	
	22	22	1890	3	21	雑録	帰去来辞	同盟会員　今淵明	18	
	22	22	1890	3	21	雑録	解喩	同盟会員　寒疲子	19	
	22	22	1890	3	21	雑録	呈鳥尾中将	同盟会員　珠堂日野湊	20	
	22	22	1890	3	21	雑録	燈前梅影	同盟会員　九日堂主人	20	
	22	22	1890	3	21	雑録	長安春夜吟	同盟会員　分別生	21	
	22	22	1890	3	21	雑報	22件		22	
	22	22	1890	3	21	本会報告			35	
	22	22	1890	3	21	広告				
4	5		1891	5	21	本会の本領			1	
4	5		1891	5	21	説話	法語	故勧学　陳善院	5	
4	5		1891	5	21	説話	無常法語	慈鎮和尚	8	
4	5		1891	5	21	説話	名利の話し	大学林講師　斉藤聞精	8	
4	5		1891	5	21	説話	不殺生戒	文学士　澤柳政太郎	11	
4	5		1891	5	21	説話	敢て医学生諸君に望む	鎌田淵海	14	
4	5		1891	5	21	説話	妖怪学一斑	文学士　井上圓了	23	
4	5		1891	5	21	講義	法華経題名講義	斎藤聞精	25	
4	5		1891	5	21	講義	唯識大意	大学林教授　堤山暢堂	1	
4	5		1891	5	21	講義	原人論	大学林教授　熱田霊知	1	
4	5		1891	5	21	蒐録	女子教育談		1	
4	5		1891	5	21	蒐録	教育と学問との方針		2	
4	5		1891	5	21	蒐録	遂に之を如何せん		3	
4	5		1891	5	21	蒐録	反省会開拓の趣旨		4	

4	5		1891	5	21	誌藻	4件		6	
4	5		1891	5	21	雑報	3件		7	
4	5		1891	5	21	広告	数件			
4	6		1891	6	21	大法主殿御消息			1	
4	6		1891	6	21	会説	再び本会の本領を告白す		1	
4	6		1891	6	21	論説	欲達所期者須足踐實地	石井苔巖	6	
4	6		1891	6	21	説話	先常信	雲棲大師	12	
4	6		1891	6	21	説話	釋門警戒	理綱院法霖	14	
4	6		1891	6	21	説話	名利の話し（承前）	大学林講師　斉藤聞精	16	
4	6		1891	6	21	説話	角を矯めて牛を殺す勿れ	大内青巒	19	
4	6		1891	6	21	講義	法華経題名講義（承前）	斎藤聞精	25	
4	6		1891	6	21	講義	唯識大意（承前）	大学林教授　提山暢堂	29	
4	6		1891	6	21	講義	原人論（承前）	大学林教授　熱田霊知	5	
4	6		1891	6	21	蒐録	念仏篇		1	
4	6		1891	6	21	蒐録	歌		1	
4	6		1891	6	21	蒐録	玉日君の遺書		1	
4	6		1891	6	21	雑報	7件		2	
4	6		1891	6	21	本会報告			6	
4	6		1891	6	21	広告	数件			
4	7		1891	6	21	会説	精神の統一		1	
4	7		1891	6	21	説話	仏教は平和を以て行わる	司教　赤松連城師	7	
4	7		1891	6	21	説話	三徳之辨	江村秀山師	13	
4	7		1891	6	21	説話	心識所在の説	司教　小山憲榮師	15	
4	7		1891	6	21	説話	釋門警誡（承前）	理綱院法霖師	17	
4	7		1891	6	21	講義	法華経題名講義（承前）	大学林講師　斉藤聞精	21	
4	7		1891	6	21	講義	唯識大意講義（承前）	大学林教授　提山暢堂	25	
4	7		1891	6	21	講義	原人論講義（承前）	全　熱田霊知	29	
4	7		1891	6	21	寄書	近頃外教衰えて仏教盛りなりと云うは皮相か実際か	霊河秀嶺	33	
4	7		1891	6	21	蒐録	大法句経勧誡の偈		36	
4	7		1891	6	21	蒐録	読本朝往生伝序		36	
4	7		1891	6	21	蒐録	歌		37	
4	7		1891	6	21	蒐録	哭故文学博士　中村敬宇翁二律		37	
4	7		1891	6	21	蒐録	和歌数首		37	
4	7		1891	6	21	雑報	10件		40	
4	7		1891	6	21	本会報告			1	
4	7		1891	6	21	本会広告				
4	7		1891	6	21	広告	数件			
4	8		1891	8	21	会説	慈善と経済		1	
4	8		1891	8	21	説話	印度仏教の近況	在西倫　川上貞信　手記	9	
4	8		1891	8	21	説話	一心	朝戸高山虚士稿	18	
4	8		1891	8	21	説話	法語	天桂禅師	23	
4	8		1891	8	21	説話	同	無難禅師	24	
4	8		1891	8	21	説話	京都婦人教会に於いて島地黙雷師演述	高原晩成　筆記	23	
4	8		1891	8	21	講義	法華経題名講義（承前）	大学林講師　斉藤聞精　筆記	30	
4	8		1891	8	21	講義	唯識大意講義（承前）	提山鴨堂	33	
4	8		1891	8	21	講義	原人論講義（承前）	全　熱田霊知	35	
4	8		1891	8	21	寄書	仏教百年の大計	石井苔巖	37	
4	8		1891	8	21	故録	弘法大師十首無益和歌		39	
4	8		1891	8	21	雑報	18件		39	
4	8		1891	8	21	本会報告			45	
4	8		1891	8	21	本会広告				
4	8		1891	8	21	広告数件				
4	9		1891	9	21	会説	仏教家の識量		1	
4	9		1891	9	21	説話	京都婦人教会に於いて島地黙雷師演述（承前）	高原晩成筆記	5	
4	9		1891	9	21	説話	真宗僧侶蓄髪議	柳堂逸史	9	
4	9		1891	9	21	説話	心識所在の説小山憲榮師演述（承前々号）	三浦友寿筆記	13	
4	9		1891	9	21	説話	厭穢欣浄篇	故　菩提山西隆師遺著	15	
4	9		1891	9	21	講義	法華経題名講義（承前）	大学林講師　斉藤聞精筆記	18	
4	9		1891	9	21	講義	唯識大意講義（承前）	大学林教授　提山暢堂	23	
4	9		1891	9	21	講義	原人論講義（承前）	全　熱田霊知	25	
4	9		1891	9	21	寄書	仏教百年の大計（承前）	石井苔巖	27	
4	9		1891	9	21	蒐録	希望	斎藤聞精師	28	
4	9		1891	9	21	蒐録	伝道歌	会員　川本恵開稿	29	
4	9		1891	9	21	雑報	9件		30	
4	9		1891	9	21	本会報告			41	
4	9		1891	9	21	本会広告			45	
4	9		1891	9	21	広告数件				
4	10		1891	10	21	会説	成敗論		1	
4	10		1891	10	21	論説	無尽性を論じて転生に及ぶ	黙医学士　生駒藤太郎	5	
4	10		1891	10	21	説話	真宗僧侶蓄髪議（承前）	柳堂逸史	8	
4	10		1891	10	21	説話	昨夢虚談	陳善院　僧撲	13	
4	10		1891	10	21	説話	仏魔一髪	島地嘿雷	17	
4	10		1891	10	21	説話	宗教各論	鎌田淵海口演	21	
4	10		1891	10	21	講義	法華経題名講義（承前）	故勧学　百叡師説、大学林講師　斎藤聞精筆録	27	
4	10		1891	10	21	講義	原人論講義（承前）	大学林教授　熱田霊知	31	
4	10		1891	10	21	蒐録	本派大法主殿御書		35	
4	10		1891	10	21	蒐録	念仏篇	西秋谷	36	
4	10		1891	10	21	雑報	１１件		36	
4	10		1891	10	21	本会報告			40	
4	10		1891	10	21	広告			41	
4	10		1891	10	21	特別広告				
4	11		1891	11	21	会説	天災地変に就いて		1	
4	11		1891	11	21	論説	無尽性を論じて転生に及ぶ（承前）	黙医学士　生駒藤太郎	3	
4	11		1891	11	21	寄書	道徳の衰退は仏教廃滅の前兆なり	会員　佐賀柘　寛雄	6	
4	11		1891	11	21	説話	作夢虚談（承前）	陳善院　僧撲	7	
4	11		1891	11	21	説話	厭穢欣浄（前号の続）	故　菩提山西隆師遺著	10	
4	11		1891	11	21	説話	日野宣朝卿の事	蒻々居士　大内青巒	13	
4	11		1891	11	21	説話	仏魔一髪（承前）	島地黙雷	16	
4	11		1891	11	21	説話	宗教各論（承前）	鎌田淵海	20	
4	11		1891	11	21	講義	法華経題名講義（完）	故勧学　百叡師説	23	
4	11		1891	11	21	講義	唯識大意講義（前号の続）	大学林教授　提山暢堂	25	
4	11		1891	11	21	文宛	誌六首		31	
4	11		1891	11	21	文宛	歌二首		31	
4	11		1891	11	21	雑報	12件		32	
4	11		1891	11	21	本会報告			37	
4	11		1891	11	21	本会特別広告			39	
4	11		1891	11	21	広告	数件		39	
4	12		1891	12	21	会説	歳末の感		1	
4	12		1891	12	21	論説	フランクリン氏自伝中の一節	会員　ケイエフ生	5	
4	12		1891	12	21	論説	鳴動の原因	理学博士　開谷清景	12	
4	12		1891	12	21	説話	作夢虚談（承前）	故　陳善院　僧樸	14	

4	12		1891	12	21	説話	厭穢欣浄（前号の続）	故　菩提山西隆師遺著	16	
4	12		1891	12	21	説話	古徳法語	南越脱山坊写録	21	
4	12		1891	12	21	説話	令女教会に於いて	島地黙雷師	24	
4	12		1891	12	21	蒐録	黒谷上人御消息		28	
4	12		1891	12	21	蒐録	板敷山書感	南渓杜多	28	
4	12		1891	12	21	雑報	９件件		29	
4	12		1891	12	21	本会報告			36	
4	12		1891	12	21	本会特別広告			38	
4	12		1891	12	21	広告	数件		1	
4	12		1891	12	21	講義	原人論	大学林教授　熱田霊知	21	
5	1		1892	1	21	会説	新年の詞		1	
5	1		1892	1	21	論説	比叡宗教学	藤島了稔	5	
5	1		1892	1	21	論説	新仏教論に就いて中西牛朗君に質す	鎌田淵海	8	
5	1		1892	1	21	論説	閑窓法語	明教院僧鎔師	14	
5	1		1892	1	21	説話	古徳法語	南越脱山坊写録	20	
5	1		1892	1	21	説話	令女教会に於いて	島地黙雷	23	
5	1		1892	1	21	説話	暁更鶯	大谷光尊	26	
5	1		1892	1	21	文宛	餘寒月	大谷光勝	26	
5	1		1892	1	21	文宛	或人の罪に	佐伯旭雅	26	
5	1		1892	1	21	文宛	元旦	荻野獨園	26	
5	1		1892	1	21	文宛	題会我兄弟復讐図	山本竹渓	26	
5	1		1892	1	21	文宛	悼老僕長句	窪生金松	26	
5	1		1892	1	21	文宛	吊畠山勇子	中村確堂	27	
5	1		1892	1	21	雑報	９件		27	
5	1		1892	1	21	本会報告	数件		34	
5	1		1892	1	21	特別報告	数件		37	
5	1		1892	1	21	広告	数件			
5	1		1892	1	21	義	原人論	大学林教授　熱田霊知	27	
5	3		1892	3	21	会説	仏教家大に奮起すべきの秋到る		1	
5	3		1892	3	21	論説	比較宗教学（承前）	文学寮長　藤島了稔	5	
5	3		1892	3	21	説話	真宗念仏現益辨	僧樸師述	7	
5	3		1892	3	21	説話	たすけたまえの意		12	
5	3		1892	3	21	説話	信心の意	労■院善譲師	14	文字潰れ
5	3		1892	3	21	説話	古徳法語	南越脱山坊写録	15	
5	3		1892	3	21	説話	恵信先徳の御法話		19	
5	3		1892	3	21	説話	二隻四重の判釋に就いて	足利義山師	21	
5	3		1892	3	21	説話	邪教の女子を娶るべからず	内藤耻叟	25	
5	3		1892	3	21	文宛	奉送松島善海師辞大学教授帰干郷里勧学小山憲榮師帰郷　二首	菅原苔巖	29	
5	3		1892	3	21	文宛	同	木山定生	29	
5	3		1892	3	21	文宛	同	日野湊	30	
5	3		1892	3	21	時事	釈尊の降誕会		30	
5	3		1892	3	21	時事	本願寺の法会		30	
5	3		1892	3	21	時事	文学寮の落成式		30	
5	3		1892	3	21	時事	大学林支校の改正		31	
5	3		1892	3	21	時事	大学林高等科生の受命者		31	
5	3		1892	3	21	時事	全国仏教者大懇話会に就いて		31	
5	3		1892	3	21	時事	本会は委員たらず		31	
5	3		1892	3	21	時事	委員は遂に辞すべからず		32	
5	3		1892	3	21	時事	委員の受任		32	
5	3		1892	3	21	時事	政治主義と仏教家		32	
5	3		1892	3	21	時事	博貫舎		33	
5	3		1892	3	21	時事	同志社教員永眠す		33	
5	3		1892	3	21	本会報告	数件		34	
5	3		1892	3	21	特別広告	数件		35	
5	3		1892	3	21	広告	数件		36	
5	3		1892	3	21	講義	原人論	大学林教授　熱田霊知	39	
5	4		1892	4	27	伝道新誌	改題の理由		1	この号より、改称。伝道新誌
5	4		1892	4	27	論説	油断大敵		4	
5	4		1892	4	27	寄書	謹而世の自分免許の平井権八先生に告ぐ	在京　明治権八仙士	7	
5	4		1892	4	27	寄書	大聖降誕会に関して	善連法彦稿	12	
5	4		1892	4	27	説話	古徳法語	南越　脱山坊写録	16	
5	4		1892	4	27	説話	二種深信の意、聞其名号の意	労譲院善譲師	19	
5	4		1892	4	27	説話	一遍上人の法語		22	
5	4		1892	4	27	説話	人生の第一主義	加藤恵証	23	
5	4		1892	4	27	蒐録	西京雑記第二（深草伏見の梅）	愛楳仙士	29	
5	4		1892	4	27	文宛	呈内田園寿君並引	珠同　日野湊	32	
5	4		1892	4	27	時事	嶺麿殿		34	
5	4		1892	4	27	時事	文学寮の砂持に就いて		34	
5	4		1892	4	27	時事	牧野大蓮君備前に蟠まる		35	
5	4		1892	4	27	時事	伝道会員の就学		35	
5	4		1892	4	27	時事	仏教の二新聞		35	
5	4		1892	4	27	時事	貴婦人の熱心		36	
5	4		1892	4	27	時事	国教記者に答える		36	
5	4		1892	4	27	時事	教誨師の会堂		37	
5	4		1892	4	27	時事	南越懇話会		38	
5	4		1892	4	27	広告	数件		38	
5	5		1892	5	21	社説	第五週年発刊に就いて		1	
5	5		1892	5	21	祝文		佐々木狂介	2	
5	5		1892	5	21	論説	無因他因之辨	勧学　足利義山	3	
5	5		1892	5	21	論説	儀式習慣の宗教に関する効力	日野湊	5	
5	5		1892	5	21	論説	宗粋保存論	肥前　柘寛雄	9	
5	5		1892	5	21	説話	南越懇話会に於ける法話	執行長　大洲鐵然	11	
5	5		1892	5	21	説話	仏蘭西国の宗教	連枝　藤枝澤通	14	
5	5		1892	5	21	蒐録	羅馬法王と仏教政府との間に締結したる条約	文学寮長　藤島了稔釋	16	
5	5		1892	5	21	蒐録	本願寺文学寮の落成式		17	
5	5		1892	5	21	蒐録	大法主の告辞　真宗木辺派管長の祝文		17	
5	5		1892	5	21	蒐録	各執行の告辞　文学寮長の告文		18	
5	5		1892	5	21	蒐録	建築係の祝文	南越　三車薫界	21	
5	5		1892	5	21	蒐録	釈門講談		22	
5	5		1892	5	21	文宛	高祖頌	履善	23	
5	5		1892	5	21	文宛	聞名歌	全人	23	
5	5		1892	5	21	文宛	述懐	故　實雲	23	
5	5		1892	5	21	文宛	大師誕辰宴会詩	亀陰　小山憲榮	23	
5	5		1892	5	21	文宛	臨宗祖降誕会恭賦	大学林　木山定生	24	
5	5		1892	5	21	文宛	宗祖の光	かつら　居士	24	
5	5		1892	5	21	時事	本願寺大学林の地位		26	
5	5		1892	5	21	時事	本願寺文学寮の地位		27	
5	5		1892	5	21	時事	発会式の見合わせ		27	
5	5		1892	5	21	時事	員外勤学大内裕象師		27	
5	5		1892	5	21	時事	勧学小山憲榮師		27	
5	5		1892	5	21	時事	酬徳会		27	
5	5		1892	5	21	時事	建仁寺派管長の遷化		27	

5	5		1892	5	21	時事	東福寺内山		27	
5	5		1892	5	21	時事	夏期学校		28	
5	5		1892	5	21	時事	仏教青年会		28	
5	5		1892	5	21	時事	監外の品性		28	
5	5		1892	5	21	時事	への字とくの字		28	
5	5		1892	5	21	時事	楠原主視氏逝く		28	
5	5		1892	5	21	時事	新樹緑滋		28	
5	5		1892	5	21	時事	議員選挙		29	
5	5		1892	5	21	時事	堕落世界		29	
5	5		1892	5	21	時事	湖南事件の一週年		29	
5	5		1892	5	21	時事	三界安猶如火宅		29	
5	5		1892	5	21	時事	乾坤満鷲獅		29	
5	5		1892	5	21	時事	現今教界		29	
5	5		1892	5	21	時事	大学林文学寮の降誕会		29	
5	5		1892	5	21	広告	数件		30	
5	5		1892	5	21	附録	故労謙院勧学松島善譲師	大林学講師　福田行忍	32	
5	6		1892	6	20	社説	夏期休業近きに在り敢て青年仏学諸氏に望む		1	
5	6		1892	6	20	論説	真宗信者論	佐々木抑堂	4	
5	6		1892	6	20	論説	現時の青年学仏教者須く第一流の教家たらんを望む	弓波明哲	8	
5	6		1892	6	20	説話	暇丘法語	即翁	11	
5	6		1892	6	20	説話	古徳法語	南越　脱山坊	14	
5	6		1892	6	20	説話	仏教興起	文学士　徳永満之	18	
5	6		1892	6	20	蒐録	釋門孝談		24	
5	6		1892	6	20	蒐録	学窓課餘之法味	遺言弟　摩訶阿毘迦羅拝	25	
5	6		1892	6	20	文宛	輔教木山乗願師碑文	佐々木狂介	27	
5	6		1892	6	20	時事	大学林文学寮降誕会		27	
5	6		1892	6	20	時事	伝道会大和支部		28	
5	6		1892	6	20	時事	伝道会員大原哲丸氏		29	
5	6		1892	6	20	時事	松島善海師		29	
5	6		1892	6	20	時事	服部範嶺氏		29	
5	6		1892	6	20	時事	総代会衆		29	
5	6		1892	6	20	時事	活妙好人		29	
5	6		1892	6	20	時事	京都医学校仏教青年会		30	
5	6		1892	6	20	時事	大法主殿御次男		31	
5	6		1892	6	20	広告	数件		32	
5	6		1892	6	20	講義				本文無し、目次のみ
5	7		1892	7	21	社説	仏教の本領と政治主義の関係を論ず		1	
5	7		1892	7	21	論説	仏教研究者盍い印刷の利器を活用せざる	菅原苔巖	4	
5	7		1892	7	21	論説	林寮教職員園融会に於ける討論問題		8	
5	7		1892	7	21	論説	王法為本の範囲	鎌田淵海	9	
5	7		1892	7	21	説話	瑕丘法語		13	
5	7		1892	7	21	説話	第三高等中学校仏教青年会に於ける講話筆記	提山暢堂	18	
5	7		1892	7	21	蒐録	第一章明恵上人の行為に関する事	木山定生稿	23	
5	7		1892	7	21	蒐録	天長育民瑞		25	
5	7		1892	7	21	寄書	宣教之一方案	備後　苅屋哲公	25	
5	7		1892	7	21	時事	本願寺集会議員当撰者		26	
5	7		1892	7	21	時事	大学林学生諸氏大に奮う		26	
5	7		1892	7	21	時事	大学林卒業生		27	
5	7		1892	7	21	時事	文学寮卒業生		27	
5	7		1892	7	21	時事	文学寮大に募る		27	
5	7		1892	7	21	時事	伝道会員補教に進む		28	
5	7		1892	7	21	時事	八淵蟠龍氏		28	
5	7		1892	7	21	時事	星野甚右衛門氏		28	
5	7		1892	7	21	時事	文学寮の粉擾事件		28	
5	7		1892	7	21	広告	数件		29	
5	7		1892	7	21	附録				本文無し、目次のみ
5	8		1892	8	21	社説	日本仏徒目下の考究問題		1	
5	8		1892	8	21	社説	哲学と崇教		6	
5	8		1892	8	21	論説	印度仏典会社発会式に際し会長バブナレンドラナス氏の演説	H, Y, 生摘釋	9	
5	8		1892	8	21	論説	仏教現時の急務如何	伝道会員　弓派明哲	14	
5	8		1892	8	21	説話	婦人教会説教	勧学　攝受吐月	17	
5	8		1892	8	21	説話	法話	司教　藤田好堅	19	
5	8		1892	8	21	説話	誠関東邪見之徒書	故　能化功存師	21	
5	8		1892	8	21	説話	京都府立医学校青年会に於ける講話	鎌田淵海	23	
5	8		1892	8	21	蒐録	木南随筆	故　楠實観師　手記	27	
5	8		1892	8	21	蒐録	飛雲閣上清談		28	
5	8		1892	8	21	蒐録	芳藻		29	
5	8		1892	8	21	蒐録	講習餘事	珠堂　日野湊	30	
5	8		1892	8	21	時事	本派本願寺大法主猊下夏期学校に賜う		30	
5	8		1892	8	21	時事	基督教仏国より攪斥せらる		31	
5	8		1892	8	21	時事	安居		31	
5	8		1892	8	21	時事	熊本県知事の底意		31	
5	8		1892	8	21	時事	壓僧		32	
5	8		1892	8	21	時事	同名同月堂日		32	
5	8		1892	8	21	広告	数件		34	
5	9		1892	9	27	社説	本山教会と真宗伝道会の区別		1	
5	9		1892	9	27	論説	仏教現時の急務如何（承前）	伝道会員　弓派明哲	3	
5	9		1892	9	27	論説	英雄却て小身にあり	同　小身童子	5	
5	9		1892	9	27	論説	全国仏教者大懇話会出席議員の諸氏に質す	伝道会員　苅谷哲公	6	
5	9		1892	9	27	説話	婦人教会説教（承前）	勧学　攝受吐月	7	
5	9		1892	9	27	説話	京都府立医学校青年会に於ける講話（第二回）	鎌田淵海	9	
5	9		1892	9	27	説話	青年■鑑二編		13	文字潰れ
5	9		1892	9	27	蒐録	万法唯識歌	苅谷哲公	14	
5	9		1892	9	27	蒐録	講習餘事（承前）	珠堂　日野湊	15	
5	9		1892	9	27	寄書	鐵道奇談	杵洋仙士稿	16	
5	9		1892	9	27	寄書	小児往生遺構	長田哲雄写寄	17	
5	9		1892	9	27	雑報	9件		19	
5	9		1892	9	27	広告	数件		25	
5	9		1892	9	27	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		
5	10		1892	10	21	社説	謹で監督局の設立を祝す		1	
5	10		1892	10	21	論説	監督局設立に就いて血泣再拝して本山当路の高僧並びに惣代会衆の各位に呈す		2	
5	10		1892	10	21	説話	法話	司教　斉藤聞精	7	
5	10		1892	10	21	説話	政治と宗教の関係	一等巡教使　赤松連城	10	
5	10		1892	10	21	説話	青年亀鑑	樟陰道人	15	
5	10		1892	10	21	蒐録	学窓課余之法味	伝道会員　摩訶阿毘迦羅	17	
5	10		1892	10	21	蒐録	発狂に就いての問答	同　三松永成	19	
5	10		1892	10	21	蒐録	釋門孝伝		21	
5	10		1892	10	21	蒐録	課余漫評	同　弓波踏氷	22	
5	10		1892	10	21	時事	監督局の法律		24	
5	10		1892	10	21	時事	牧野大蓮と鎌田淵海		24	
5	10		1892	10	21	時事	監獄教誨師の大会議		25	
5	10		1892	10	21	時事	新選総代会衆に望む		25	

5	10		1892	10	21	時事	僧侶と実業の関係		25	
5	10		1892	10	21	時事	生肝と犬姦		25	
5	10		1892	10	21	時事	死亡者の統計及び調査		26	
5	10		1892	10	21	時事	大学林尚志会		27	
5	10		1892	10	21	時事	山口は奮姓		27	
5	10		1892	10	21	広告	数件			
5	10		1892	10	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
5	11		1892	11	21	社説	大学林経費予算案について惣代会衆の各位に望む		1	
5	11		1892	11	21	論説	本宗僧侶の政事に対する注意	菅原苔巖師	6	
5	11		1892	11	21	説話	無始流転の苦をすてて無常涅槃を期する事	教司　藤井玄珠師	11	
5	11		1892	11	21	説話	如来二種の回向の恩徳真に謝しがたし		12	
5	11		1892	11	21	説話	像法のときの智人も自力の諸経をさしおきて時期相応の法なれば念仏門にぞ入玉う	説教　補教　熱田霊知師 長田哲夫筆記	13	
5	11		1892	11	21	説話	論主の一心といいけるをば曇鸞大師のみことには煩悩成就のわれらが他力の心とのへ玉う	司教　赤松連城師	15	
5	11		1892	11	21	蒐録	釋門孝談		18	
5	11		1892	11	21	蒐録	送瞻岳師之北海道	菅桐南師	19	
5	11		1892	11	21	蒐録	二種深信の歌	故教司　誓鎧師	20	
5	11		1892	11	21	蒐録	談老	佐々木抑堂師	21	
5	11		1892	11	21	蒐録	末廣重恭鐵腸居士漫遊記中の一節		22	
5	11		1892	11	21	蒐録	贈雄爾鴻図氏並引	珠堂　日野湊師	23	
5	11		1892	11	21	蒐録	珠堂日野湊氏のオルコット氏に贈るの詩を譯す	小林米珂師	24	
5	11		1892	11	21	寄書	京都毎日新報社記者に御相談	無害居士	25	
5	11		1892	11	21	寄書	告伝道子	江川芳永	25	
5	11		1892	11	21	時事	大法主猊下山田伯の葬儀に臨まる		25	
5	11		1892	11	21	時事	妙好人蘆田仁三郎の母とよ子		25	
5	11		1892	11	21	時事	妙好人出口重助		27	
5	11		1892	11	21	広告	数件			
5	11		1892	11	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知師		本文無し、目次のみ
5	12		1892	12	21	社説	歳を送る	星野逸人	1	
5	12		1892	12	21	論説	読仏教大難論	朝日　運羽道人	2	
5	12		1892	12	21	論説	書生と老婆	在京都　木山定生師	u	
5	12		1892	12	21	説話	像法の時の智人も自力の諸経をさし置いて時期相応の法なれば念仏門にぞ入玉う(承前)	補教　熱田霊知師 長田哲夫筆記	7	
5	12		1892	12	21	説話	演説	文学寮長　武田篤初師	10	
5	12		1892	12	21	説話	千島艦沈没に就いて	大学林講師　福田行忍師　惜陰生筆記	16	
5	12		1892	12	21	蒐録	釋門孝談		19	
5	12		1892	12	21	蒐録	課餘漫評(前々号続)	伝道会員　弓派明哲	20	
5	12		1892	12	21	蒐録	読倶舎論詠歌並短歌	藤井玄珠師	23	
5	12		1892	12	21	寄書	村上専精師に質す	備后　苅谷哲公師	23	
5	12		1892	12	21	寄書	希望と実行	高安伝道師	24	
5	12		1892	12	21	時事	島地藤島両師の米国行		25	
5	12		1892	12	21	時事	円融会兮云何		25	
5	12		1892	12	21	時事	祝餅十三万個		26	
5	12		1892	12	21	時事	故山田伯夫人の飯敬式		26	
5	12		1892	12	21	時事	仏教大討会と説教の良材		26	
5	12		1892	12	21	時事	貧の一燈長者の万燈		26	
5	12		1892	12	21	時事	大谷本願寺上棟式		26	
5	12		1892	12	21	時事	老年		27	
5	12		1892	12	21	時事	藤井玄珠師告別の辞		28	
5	12		1892	12	21	時事	千嶋艦隊迫吊会と義捐金		28	
5	12		1892	12	21	時事	鎌田淵海師の運動		28	
5	12		1892	12	21	広告	数件			
5	12		1892	12	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知師		本文無し、目次のみ
6	2		1893	2	26	社説	清国と日本仏教徒		1	
6	2		1893	2	26	論説	聖勅を拝読して所感を述ぶ	菅原三車氏	4	
6	2		1893	2	26	説話	各国に於ける仏教の形勢	英国佐官　フォンデス氏	9	
6	2		1893	2	26	説話	偶話筆録(承前)	佐々木抑堂氏	18	
6	2		1893	2	26	蒐録	普氏訪問の栞	菅洪範氏	10	
6	2		1893	2	26	蒐録	国王不黎先泥十夢経の事		22	
6	2		1893	2	26	蒐録	愛楳漫録抄出	愛楳仙士　藤井宣正氏	23	
6	2		1893	2	26	時事	詔勅		25	
6	2		1893	2	26	時事	伝道一周年		26	
6	2		1893	2	26	時事	荒尾精氏		26	
6	2		1893	2	26	時事	露国宗教政略		26	
6	2		1893	2	26	時事	聖意を奉戴せよ		26	
6	2		1893	2	26	時事	英国海軍佐官フォンチス氏仏教演説の権況		27	
6	2		1893	2	26	時事	海外宣教会の美挙		27	
6	2		1893	2	26	時事	九州仏教倶楽部の近状		28	
6	2		1893	2	26	時事	フォンデス氏の来朝		28	
6	2		1893	2	26	時事	布哇国革命の風聞		28	
6	2		1893	2	26	時事	本会の新年大会		28	
6	2		1893	2	26	時事	福島少佐の大遠征		29	
6	2		1893	2	26	時事	肥後の阿蘇山		29	
6	2		1893	2	26	時事	聖勅の煥発国民みな感泣す		29	
6	2		1893	2	26	時事	徳育青年会		29	
6	2		1893	2	26	時事	特別輸出港の宗教		29	
6	2		1893	2	26	時事	英仏即架橋		29	
6	2		1893	2	26	広告	数件			
6	2		1893	2	26	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知氏		本文無し、目次のみ
6	3		1893	3	21	社説	伝道会資本金募集に就いて謹て同会員各位に望む	伝道会　主任者	1	
6	3		1893	3	21	論説	厭離	顕明院　慧■氏	3	文字潰れ
6	3		1893	3	21	論説	策勧念仏		3	
6	3		1893	3	21	論説	仏耶両教の現勢を論ず	菅原苔巖	4	
6	3		1893	3	21	論説	青年の解	菅洪範	8	
6	3		1893	3	21	説話	陳善院僧樸師遺録		9	
6	3		1893	3	21	説話	広島県法話会に於ける勧学足利善山師の垂誡	筆記者　小田志起丸	10	
6	3		1893	3	21	説話	拵園師の法語		15	
6	3		1893	3	21	説話	正義不正義	明教院　僧鎔師	16	
6	3		1893	3	21	蒐録	梅園の閑話	大沼善隆	18	
6	3		1893	3	21	蒐録	珠堂師友録(小林米珂氏)	不二菴主人　日野湊	22	
6	3		1893	3	21	蒐録	桜洲山人詩序	錦山　矢上勝之撰	23	
6	3		1893	3	21	蒐録	詩	桜洲山人 小山憲榮　弓波明哲	23	
6	3		1893	3	21	蒐録	勤王十詠	東華子	24	
6	3		1893	3	21	蒐録	義士の手簡	抜録者　木山定生	25	
6	3		1893	3	21	蒐録	日蓮上人龍口法難に就いて	肥前　柘寛雄	27	
6	3		1893	3	21	時事	郡司大尉北征の旗章		27	
6	3		1893	3	21	時事	京地外教の現況		27	
6	3		1893	3	21	時事	天理教		28	
6	3		1893	3	21	時事	北陸鉄道		28	

6	3		1893	3	21	時事	植民協会		28	
6	3		1893	3	21	時事	浄土宗の会議		28	
6	3		1893	3	21	時事	聖徳五洲に輝く		28	
6	3		1893	3	21	時事	仏葬の流行		29	
6	3		1893	3	21	時事	地方会員の熱心		29	
6	3		1893	3	21	時事	学生の美学		29	
6	3		1893	3	21	時事	郡司大尉と菅了法氏		29	
6	3		1893	3	21	時事	伝道会支部設立		30	
6	3		1893	3	21	時事	岩橋興隆氏の辞職		30	
6	3		1893	3	21	時事	世智辨僧仏教王		30	
6	3		1893	3	21	時事	不敬事件		31	
6	3		1893	3	21	時事	令徳女学会		31	
6	3		1893	3	21	時事	内地雑居は尚早し		32	
6	3		1893	3	21	時事	春の彼岸会		32	
6	3		1893	3	21	時事	遺弟の念力		32	
6	3		1893	3	21	本会報告				
6	3		1893	3	21	広告	数件			
6	4		1893	4	21	社説	仏教伝持の責任独り僧侶に局る可からず		1	
6	4		1893	4	21	論説	本願寺大学林分派演説の挙に就いて	日下大痴	3	
6	4		1893	4	21	論説	宗教問題漸く世人の口角に上がる仏教者今後の覚悟如何	弓波踏水	4	
6	4		1893	4	21	論説	晩春の感慨	熊野鳥岳	7	
6	4		1893	4	21	説話	洗除心垢（大学林に於いて公会演説趣意）	佐々木抑堂	9	
6	4		1893	4	21	説話	小山憲榮師法語		12	
6	4		1893	4	21	説話	大学林公開演説に於ける藤井玄珠師の演説真如無明の関係	筆記者　安蒙夫	15	
6	4		1893	4	21	蒐録	漫筆	朝日　運羽道人	18	
6	4		1893	4	21	蒐録	珠堂師友録	不二菴主人　日野湊	19	
6	4		1893	4	21	蒐録	無常詩五首	鈴木慶哉	21	
6	4		1893	4	21	蒐録	時二首	大梶昂融	21	
6	4		1893	4	21	蒐録	都の花	瓜生子	21	
6	4		1893	4	21	蒐録	井上哲二郎博士と高橋五郎氏	大沼善降	22	
6	4		1893	4	21	時事	新法主殿南越御巡化		24	
6	4		1893	4	21	時事	執行長の更迭		24	
6	4		1893	4	21	時事	大学林の公開演説		24	
6	4		1893	4	21	時事	伝道会支部会則		27	
6	4		1893	4	21	時事	天理教		28	
6	4		1893	4	21	時事	大阪支部の説教大会		28	
6	4		1893	4	21	時事	同志社近状		28	
6	4		1893	4	21	時事	宗祖降誕会近きにあり		28	
6	4		1893	4	21	時事	外教者の不敬		29	
6	4		1893	4	21	時事	帝国四千万の国民に訴える		29	
6	4		1893	4	21	時事	仏教大に潮弄せらる		29	
6	4		1893	4	21	時事	八淵蟠龍氏将に万国宗教大会に臨まんとす		30	
6	4		1893	4	21	時事	荒尾精氏		30	
6	4		1893	4	21	時事	肥後伊助くんの平生業成		31	
6	4		1893	4	21	時事	皇化仏光夙に沖縮に蒙る		32	
6	4		1893	4	21	時事	騎兵隊碑文		32	
6	4		1893	4	21	時事	朝鮮の不穏		32	
6	4		1893	4	21	本会報告				
6	4		1893	4	21	広告	数件			
6	4		1893	4	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
6	5		1893	5	21	社説	遠征拓殖と仏教　千島の開教　布哇其他の伝道		1	
6	5		1893	5	21	論説	僧侶の品位を論ず	朴直子　井手三郎	4	
6	5		1893	5	21	論説	衛生論		7	
6	5		1893	5	21	説話	真実信心の釈明は弥陀回向の法なれば	安国清演述	9	
6	5		1893	5	21	説話	不回向と名付けてそ自力の称念きらはるる	香室治筆記	9	
6	5		1893	5	21	説話	大学林公開演説に於ける赤松連城師の演説（我即無我）	菅洪範記之	10	
6	5		1893	5	21	説話	第三高等中学尋常中学医学三校総合会に於ける斎藤聞精氏の講説（無我之説）	日下生誌筆記	14	
6	5		1893	5	21	説話	全上総合会に於ける姫宮大円師の演説（学仏の徒は必ず教相に依る（き説））	某生筆記	16	
6	5		1893	5	21	説話	国家と宗教の関係	鳥尾将軍演説 社員某生筆記	20	
6	5		1893	5	21	蒐録	法心寺■■梵鐘銘並序	榕陰道人連城撰	22	文字潰れ
6	5		1893	5	21	蒐録	故顕明院遺稿和歌	玉鉉稿	22	
6	5		1893	5	21	蒐録	詩二首（小山憲榮）（木山定生）		23	
6	5		1893	5	21	蒐録	金言	在京都　林行精集	24	
6	5		1893	5	21	蒐録	読空華随筆	学痺　無名子	25	
6	5		1893	5	21	時事	降誕会		26	
6	5		1893	5	21	時事	大学林に於ける降誕会		27	
6	5		1893	5	21	時事	三校合併仏教青年会		27	
6	5		1893	5	21	時事	重野博士の演説（首がちぎれても一歩も引かぬ）		27	
6	5		1893	5	21	時事	井上内相の社寺局に対する意見		27	
6	5		1893	5	21	時事	耶蘇教徒の狼狽		28	
6	5		1893	5	21	時事	基督教徒の慈善事業		28	
6	5		1893	5	21	時事	第五高等中学仏教会		28	
6	5		1893	5	21	時事	夏期講習会		29	
6	5		1893	5	21	時事	基督教福音同盟会		29	
6	5		1893	5	21	時事	会員死亡		29	
6	5		1893	5	21	時事	大津仏教青年会趣意書		30	
6	5		1893	5	21	時事	東京に於ける学生の宗教思想		30	
6	5		1893	5	21	時事	九州仏教倶楽部春季大会		31	
6	5		1893	5	21	時事	金満家と慈善		31	
6	5		1893	5	21	時事	教化の木鐸		31	
6	5		1893	5	21	時事	里見法爾氏千島行の顛末		31	
6	5		1893	5	21	時事	郡司大尉の書翰		31	
6	5		1893	5	21	本会報告				
6	5		1893	5	21	広告	数件			
6	5		1893	5	21	大附録	本願寺題十八世宗主文如上人侍等衆中へ示し給える御書			本文無し、目次のみ
6	6		1893	6	21	社説	最終の責任者		1	
6	6		1893	6	21	論説	遠征拓殖と仏教再び布哇伝道の急を論ず	朝日保寧	4	
6	6		1893	6	21	論説	孔子教	豊前　大島支耶	6	
6	6		1893	6	21	論説	衛生論	天外居士	9	
6	6		1893	6	21	説話	真宗道徳話	大学林教授　姫宮大圓	12	
6	6		1893	6	21	説話	弥陀のみふね	菅洪範	14	
6	6		1893	6	21	蒐録	実相為物	故　西淳遺稿	16	
6	6		1893	6	21	蒐録	安心詩五首	琴洲　鈴木慶哉	17	
6	6		1893	6	21	蒐録	詩二首	長門　金谷塵芥	17	
6	6		1893	6	21	蒐録	故顕明院遺稿　浄土百詠和歌（承前）	玉鉉稿	17	
6	6		1893	6	21	蒐録	第二回夏期講習会開設		19	
6	6		1893	6	21	蒐録	金言	林行蜻稜集	20	
6	6		1893	6	21	蒐録	西蔵仏教に就いて	眠夫漫稿	21	
6	6		1893	6	21	時事	板垣伯の演説		22	
6	6		1893	6	21	時事	光永純城氏の迫吊法会		23	

6	6		1893	6	21	時事	漁夫橘■の為に笑わる		23	文字潰れ
6	6		1893	6	21	時事	京都の降誕会		23	
6	6		1893	6	21	時事	葛藤纔に解く		24	
6	6		1893	6	21	時事	越前三国支部発会式		24	
6			1893	6	21	時事	■風血雨		25	文字潰れ
6	6		1893	6	21	時事	禅林の醜声		25	
6	6		1893	6	21	時事	トラック島の珍客		26	
6	6		1893	6	21	時事	杜鵑病		26	
6			1893	6	21	時事	教略か政略か婦人の利用		26	
6	6		1893	6	21	時事	看病婦		27	
6	6		1893	6	21	時事	郡司大尉の遭難		27	
6	6		1893	6	21	時事	火雨人を殺す		27	
6	6		1893	6	21	時事	学生の仇敵何の時か亡びん		28	
6	6		1893	6	21	時事	原口針水勧学往生		28	
6	6		1893	6	21	時事	吊見教院勧学		28	
6	6		1893	6	21	時事	北越の閻浮臥龍		29	
6	6		1893	6	21	時事	育者蛇に畏ちす		29	
6	6		1893	6	21	時事	耶徒の心衛		29	
6	6		1893	6	21	時事	報効義会へ寄贈書目		30	
6	6		1893	6	21	時事	報効義会謝状		30	
6	6		1893	6	21	時事	京都府應員仏教講話会		31	
6	6		1893	6	21	本会報告				
6	6		1893	6	21	広告	数件			
6	6		1893	6	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
6	7		1893	7	21	社説	基督教徒の狼狽に就いて仏教徒諸士に告ぐ		1	
6	7		1893	7	21	論説	孔子教（承前）	豊前　大島支朗	3	
6	7		1893	7	21	論説	奥都祭と京都仏徒の風儀	遲羽道人	6	
6	7		1893	7	21	説話	京都府鹿員仏教講話会に於ける赤松連城師の講話	伝道会員　某生筆記	8	
6	7		1893	7	21	説話	大学林降誕会に於ける姫宮大圓師の演説	廣田三道　記之	11	
6	7		1893	7	21	説話	耶蘇教徒の遁辞に就いて	辨士　杵洋仙士	13	
6	7		1893	7	21	説話	世の変遷に就いて所感を述ぶ	鎌田淵海	14	
6	7		1893	7	21	説話	念仏と真言	東京　多々良巻之	19	
6	7		1893	7	21	蒐録	歌一首	今古路澤悟	24	
6	7		1893	7	21	蒐録	誌二首	菅原二車	25	
6	7		1893	7	21	蒐録	歌七首	鶴田誠吾	24	
6	7		1893	7	21	蒐録	蓮成寺改鋳梵鐘銘並序	瞻岳道人了穏	24	
6	7		1893	7	21	蒐録	賢徳遺咏序	弓波明哲	25	
6	7		1893	7	21	蒐録	詩四首	小山憲榮	25	
6	7		1893	7	21	蒐録	珠堂師友録	日野湊	26	
6	7		1893	7	21	時事	徳如上人の勤王		26	
6	7		1893	7	21	時事	海外渡航者の僧風		27	
6	7		1893	7	21	時事	これと一幅対		27	
6	7		1893	7	21	時事	二三年前までは		27	
6	7		1893	7	21	時事	印度哲学宇彙		27	
6	7		1893	7	21	時事	見真大師御舊跡に関する訴訟		27	
6	7		1893	7	21	時事	蟠龍躍躍淵		28	
6	7		1893	7	21	時事	学士の快気		28	
6	7		1893	7	21	時事	加藤法将征朝鮮		29	
6	7		1893	7	21	時事	天理教会の舞踏		29	
6	7		1893	7	21	時事	海外宣教会の施本		29	
6	7		1893	7	21	時事	單騎将軍帰鞍		30	
6	7		1893	7	21	時事	在米日本人の衝突		30	
6	7		1893	7	21	時事	大学林卒御生		30	
6	7		1893	7	21	時事	安居彙報		30	
6	7		1893	7	21	時事	石田貞詮師逝く		31	
6	7		1893	7	21	時事	外人醜業事件		31	
6	7		1893	7	21	時事	同志社宗教国書館の設立		31	
6	7		1893	7	21	時事	河野廣中氏の帰仏		31	
6	7		1893	7	21	時事	醜怪の極		32	
6	7		1893	7	21	時事	有害無益国民の食客		32	
6	7		1893	7	21	時事	猿の自殺		32	
6	7		1893	7	21	時事	京都府庁員仏教講話会		33	
6	7		1893	7	21	時事	名古屋に於ける仏耶の教勢		33	
6	7		1893	7	21	時事	禅林の香風		33	
6	7		1893	7	21	本会報告				
6	7		1893	7	21	広告	数件			
6	8		1893	8	21	社説	仏教教理の独立		1	本文無し、目次のみ
6	8		1893	8	21	論説	居士仏教の弊害を論ず	弓波明哲	4	
6	8		1893	8	21	論説	安居に就いて	熊野鳥岳	7	
6	8		1893	8	21		衛生論	天外居士	10	
6	8		1893	8	21	説話	京都府庁員仏教講話会に於ける赤松連城師の講話（承前）	伝道会員　某生筆記	13	
6	8		1893	8	21	説話	親心子知らず	加藤行海	16	
6	8		1893	8	21	蒐録	送別詩	三車薫界	19	
6	8		1893	8	21	蒐録	次韻並吉崎紀行	松島南溟	20	
6	8		1893	8	21	蒐録	読伝道新誌	金谷春樹	20	
6	8		1893	8	21	蒐録	時事漫吟	鈴木琴洲	20	
6	8		1893	8	21	蒐録	即事外二首	不老渓焦	20	
6	8		1893	8	21	蒐録	歌一首	池館速行	20	
6	8		1893	8	21	蒐録	全	藤井祐貞	20	
6	8		1893	8	21	蒐録	珠堂師友録	不二菴主人　日野湊	21	
6	8		1893	8	21	時事	叡山の僧房		23	
6	8		1893	8	21	時事	血輯と失帙		23	
6	8		1893	8	21	時事	霊區は霊區		24	
6	8		1893	8	21	時事	わざにこそよれ		24	
6	8		1893	8	21	時事	警史盗、驤驛畏盗		25	
6	8		1893	8	21	時事	京都府應仏教講話会員の熱心		25	
6	8		1893	8	21	時事	右府追吊法会		25	
6	8		1893	8	21	時事	仏■の争、城下の盟		25	文字潰れ
6	8		1893	8	21	時事	闇の世の中		26	
6	8		1893	8	21	時事	思いきや		26	
6	8		1893	8	21	時事	法廷の黒白は		27	
6	8		1893	8	21	時事	鎌田淵海師は		27	
6	8		1893	8	21	時事	南越の興学		27	
6	8		1893	8	21	時事	柔港に於ける日本魂		27	
6	8		1893	8	21	時事	分からぬ事は		28	
6	8		1893	8	21	時事	惜しむべし		28	
6	8		1893	8	21	時事	世間多くの閉校は		28	
6	8		1893	8	21	時事	綱謬■戸		28	文字潰れ
6	8		1893	8	21	時事	唯識二十述記講義録		29	
6	8		1893	8	21	時事	印度に就いて		29	
6	8		1893	8	21	時事	僧侶の本分		29	
6	8		1893	8	21	時事	夏期講習会		29	
6	8		1893	8	21	時事	飛雲閣上の団欒		30	

6	8		1893	8	21	時事	諸子連快来		30	
6	8		1893	8	21	時事	葛藤漸く解く		30	
6	8		1893	8	21	時事	予告		30	
6	8		1893	8	21	時事	耶の教勢		30	
6	8		1893	8	21	時事	禅林の香風		30	
6	8		1893	8	21	本会報告				
6	8		1893	8	21	広告	数件			
6	8		1893	8	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
6	9		1893	9	21	社説	解行二門		1	
6	9		1893	9	21	論説	孔子教（承前）	豊前　大島支耶	5	
6	9		1893	9	21	論説	倶舎論の五官器（愛楳漫録抄出）	文学史　藤井宣正	10	
6	9		1893	9	21	説話	実章第五帖第二通法話	大学林講師　福田行忍	12	
6	9		1893	9	21	説話	一境三諦一心三観の法話	伝道会会員　某生筆記 大学林講師　姫宮大圓 伝道会会員　竹中了巖 伝道会会員　藤圓識筆記	15	
6	9		1893	9	21	蒐録	客窓放言集	小野鳥法幢	19	
6	9		1893	9	21	蒐録	金言	林行精抜集	20	
6	9		1893	9	21	蒐録	故顕明院遺稿（承前）		21	
6	9		1893	9	21	蒐録	詩七首	踏氷学人幢、膽岳藤島了稔、 朝日保寧	21	
6	9		1893	9	21	蒐録	和歌一首	岡田機外	22	
6	9		1893	9	21	蒐録	発句一首	同	22	
6	9		1893	9	21	雑報	18件		23	
6	9		1893	9	21	本会報告				
6	9		1893	9	21	広告	数件			
6	9		1893	9	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
6	11		1893	12	21	社説	歳暮の感		1	
6	11		1893	12	21	論説	記話一則	抑堂学人	4	
6	11		1893	12	21	論説	清空一鉢の身慈施無量を能くするか（承前）	朝日保寧	7	
6	11		1893	12	21	説話	香川葆葆晃師の法話	会員某筆記	8	
6	11		1893	12	21	説話	斎藤聞精師の法話	会員某筆記	13	
6	11		1893	12	21	説話	鎌田淵海師の説話		15	
6	11		1893	12	21	蒐録	物徂徠古事考口授摘要（続）		19	
6	11		1893	12	21	蒐録	林窓漫筆	鳥有道人	19	
6	11		1893	12	21	詞藻	7件		21	
6	11		1893	12	21	批評	諸宗必携年忌吊榮原論（二巻）	連羽道人	24	
6	11		1893	12	21	雑報	13件		24	
6	11		1893	12	21	本会報告				
6	11		1893	12	21	広告	数件			
6	11		1893	12	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	1		1894	1	21	社説	仏教的植民論		1	
7	1		1894	1	21	論説	超然主義を論じて全国の仏者に注意す	弓波踏氷	5	
7	1		1894	1	21	論説	円人無常観	菅原三車	7	
7	1		1894	1	21	説話	大学林講堂に於ける赤松連城師の法話		9	
7	1		1894	1	21	説話	中道実相	三松永成	12	
7	1		1894	1	21	蒐録	釈迦牟尼仏入滅年代考	藤井宣正	14	
7	1		1894	1	21	蒐録	白華探録		16	
7	1		1894	1	21	詞藻	9件		17	
7	1		1894	1	21	寄書	我が同働の会員に送る公開状	林文七	22	
7	1		1894	1	21	批評	御国の母		23	
7	1		1894	1	21	批評	三実叢誌		23	
7	1		1894	1	21	批評	密厳教報		23	
7	1		1894	1	21	批評	国教		23	
7	1		1894	1	21	批評	大同団報		24	
7	1		1894	1	21	批評	是真宗		24	
7	1		1894	1	21	批評	日本之光		25	
7	1		1894	1	21	批評	海外仏教事情		25	
7	1		1894	1	21	批評	大日本教育会雑誌		25	
7	1		1894	1	21	雑報	11件		25	
7	1		1894	1	21	本会報告				
7	1		1894	1	21	広告	数件			
7	1		1894	1	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	2		1894	2	21	社説	内地雑居許否の事に就いて大に仏教徒に告ぐ		1	
7	2		1894	2	21	論説	円人無常観（承前）	菅原三車	3	
7	2		1894	2	21	論説	所感	在京都　木山定生	5	
7	2		1894	2	21	寄書	宗教界の動力と反動力	間山正秀	8	
7	2		1894	2	21	寄書	二諦相依の書ぞめ	洛山　尚武道人	12	
7	2		1894	2	21	蒐録	釈迦牟尼仏入滅年代考（承前）	藤井宣正	14	
7	2		1894	2	21	蒐録	筆のまにまに	風教道人	15	
7	2		1894	2	21	蒐録	物徂徠古事考口授摘要		17	
7	2		1894	2	21	蒐録	聖徳太子讃美歌	川木恵開	17	
7	2		1894	2	21	蒐録	珠堂師友録	日野居龍	20	
7	2		1894	2	21	詞藻	6件		21	
7	2		1894	2	21	雑報	25件		22	
7	2		1894	2	21	本会報告				
7	2		1894	2	21	広告	数件			
7	2		1894	2	21	附録原人論講義		大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	3		1894	3	21	社説	根本的改革		1	
7	3		1894	3	21	論説	外学難問　八宗要決	瀬成世眼	4	
7	3		1894	3	21	論説	運	屠龍山人	7	
7	3		1894	3	21	論説	弥陀尊と梅	春日哲雄	9	
7	3		1894	3	21	社説	法話	姫宮大圓	9	
7	3		1894	3	21	社説	四十二対勧辨	故　顕明院慧鑑	11	
7	3		1894	3	21	蒐録	真宗勧信要訣		14	
7	3		1894	3	21	蒐録	筆のまにまに（第二）	弓波明哲	15	
7	3		1894	3	21	蒐録	物徂徠古事考口授摘要	風教道人	16	
7	3		1894	3	21	蒐録	伊吹蓬（天主教伝来記）	佐々木恵璋	17	
7	3		1894	3	21	詞藻	9件		19	
7	3		1894	3	21	批評	二十六世紀		13	
7	3		1894	3	21	雑報	29件		13	
7	3		1894	3	21	本会報告				
7	3		1894	3	21	広告	数件			
7	3		1894	3	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	4		1894	4	21	附録	法如上人御消息		1	
7	4		1894	4	21	社説	家屋的門徒を改めて人体的門徒たらしめよ		3	
7	4		1894	4	21	論説	日本仏教徒の子弟（第一）	生駒学士　孤峰学人	5	
7	4		1894	4	21	説話	雁の音信	雷山老師述	11	
7	4		1894	4	21	説話	信心決判	栗津義圭述	13	
7	4		1894	4	21	説話	末代章の意	輔教　提山暢堂 会員筆記	18	
7	4		1894	4	21	説話	放心と無心の区別	海水道人演説	20	

7	4		1894	4	21	蒐録	藤井文学士に答う	南條文雄	21	
7	4		1894	4	21	蒐録	食時五思	毎水道人写	22	
7	4		1894	4	21	蒐録	西蔵タン、ラマ法王支那巡錫日記	藤井端枝子譯	23	
7	4		1894	4	21	詞藻	2件		24	
7	4		1894	4	21	雑報	18件		25	
7	4		1894	4	21	本会報告				
7	4		1894	4	21	広告	数件			
7	4		1894	4	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	4		1894	4	21	附録	本如宗主江州小浜御書			本文無し、目次のみ
7	5		1894	5	21	社説	五月二十一日			
7	5		1894	5	21	社説	本会創立第七周		1	
7	5		1894	5	21	論説	教家處世論	菅原三車	3	
7	5		1894	5	21	論説	外学難問八宗要決（接前々号）	瀬成世眼	8	
7	5		1894	5	21	論説	日本仏教徒の子弟（第二）	生駒学士　孤峰学人	11	
7	5		1894	5	21	説話	末代章の意（承前）	輔教　提山暢堂 会員筆記	13	
7	5		1894	5	21	説話	降誕会	菅洪範演説	15	
7	5		1894	5	21	説話	雁の音信（承前）	雪山老師述	17	
7	5		1894	5	21	蒐録	真宗勧信要訣	弓波明哲稿	20	
7	5		1894	5	21	蒐録	明鏡録	閑夢散納稿	23	
7	5		1894	5	21	蒐録	大廉師伝	柏木城谷寄	24	
7	5		1894	5	21	蒐録	釋道雅師勤王事蹟附遺稿	内島勇寄	24	
7	5		1894	5	21	蒐録	宗祖大師降誕祝歌	川本恵開	25	
7	5		1894	5	21	蒐録	凌雲園先生追吊会の際	同人	26	
7	5		1894	5	21	詞藻	9件		26	
7	5		1894	5	21	雑報	16件		28	
7	5		1894	5	21	本会報告				
7	5		1894	5	21	広告	数件			
7	5		1894	5	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	6		1894	6	21	社説	真宗伝道会の改革		1	
7	6		1894	6	21	論説	日本仏教徒の子弟（第三）	農学士　孤峰学人	5	
7	6		1894	6	21	説話	説教	栗津義圭述	8	
7	6		1894	6	21	説話	末代章の意（接前）	輔教　提山暢堂	10	
7	6		1894	6	21	説話	遠大の志願	赤松連城	12	
7	6		1894	6	21	説話	某高僧の頑固談	名和毎水道人	15	
7	6		1894	6	21	蒐録	麻厚禮氏詩論（彌児頓侖抄歸）	片岡俊麿	17	
7	6		1894	6	21	蒐録	西蔵タシ、ラマ法王、支那巡錫日記　承前々号	藤井瑠枝子譯	20	
7	6		1894	6	21	蒐録	在北海里見法爾氏の書幹		21	
7	6		1894	6	21	蒐録	誰か真宗信徒を意気地なしと言うや		23	
7	6		1894	6	21	蒐録	先徳いわく		23	
7	6		1894	6	21	蒐録	仏像言わず		23	
7	6		1894	6	21	蒐録	止住百歳仏願の生起本末		24	
7	6		1894	6	21	蒐録	小人		24	
7	6		1894	6	21	蒐録	徳の賊		24	
7	6		1894	6	21	蒐録	元気		24	
7	6		1894	6	21	詞藻	1件		24	
7	6		1894	6	21	雑報	11件		25	
7	6		1894	6	21	本会報告				
7	6		1894	6	21	広告	数件			
7	6		1894	6	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	7		1894	7	21	社説	各地出張の使僧各氏に望む		1	
7	7		1894	7	21	論説	日本仏教徒の子弟（第三）	農学士　孤峰学人	3	
7	7		1894	7	21	説話	外学難問　八宗要決（承前）	瀬成世眼	6	
7	7		1894	7	21	説話	末代章の意（承前）	輔教　提山暢堂	10	
7	7		1894	7	21	説話	速了と誤謬	遲羽道人　朝日保寧	12	
7	7		1894	7	21	説話	万国宗教大会演説	平井金三氏演説	14	
7	7		1894	7	21	蒐録	二疊贈雲摩鉢羅氏韻題髪繍曼荼羅為国東翻迷師並引	日野居龍	23	
7	7		1894	7	21	雑報	12件		25	
7	7		1894	7	21	本会報告				
7	7		1894	7	21	広告	数件			
7	7		1894	7	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	8		1894	8	21	社説	安居会に於ける大衆諸師の責任		1	
7	8		1894	8	21	論説	日本仏教徒の子弟（第四）	農学士　孤峰学人	4	
7	8		1894	8	21	説話	四十八願茗談集（一）	南溟著	7	
7	8		1894	8	21	蒐録	艶花明月	翠村隠士	10	
7	8		1894	8	21	蒐録	禁止鈔	沙門蓮如集記	12	
7	8		1894	8	21	詞藻	8件		14	
7	8		1894	8	21	批評	数件		17	
7	8		1894	8	21	史伝	守敏僧都伝	翠村隠士	19	
7	8		1894	8	21	雑報	12件		23	
7	8		1894	8	21	特別広告				
7	8		1894	8	21	広告				
7	8		1894	8	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	9		1884	9	21	社説	朝鮮並に陸海軍に対する布教の事に就いて本山会衆の各位に望む		1	
7	9		1884	9	21	論説	日本仏教徒の子弟（第五）	孤峰学人	3	
7	9		1884	9	21	論説	南條博士の説に疑あり	日下密門	5	
7	9		1884	9	21	論説	仏教と国家	御風生	7	
7	9		1884	9	21	論説	自持論	中野芳涯	11	
7	9		1884	9	21	説話	四十八願茗談集（接前）	南溟著	13	
7	9		1884	9	21	説話	末代章の意	提山暢堂	15	
7	9		1884	9	21	説話	義勇奉公	小野鳥法幢	16	
7	9		1884	9	21	蒐録	勧堂		21	
7	9		1884	9	21	蒐録	覺仙垣山老師碑	大内青巒	23	
7	9		1884	9	21	蒐録	仏教唱歌	熊谷督教	24	
7	9		1884	9	21	詞藻			24	
7	9		1884	9	21	批評			24	
7	9		1884	9	21	雑報			26	
7	9		1884	9	21	特別広告				
7	9		1884	9	21	広告	数件			
7	10		1894	10	21	社説	仏教歴史の攻修		1	
7	10		1894	10	21	論説	日本仏教徒の子弟（第六）	孤峰学人	4	
7	10		1894	10	21	説話	四十八願茗談集（接前）	南溟著	7	
7	10		1894	10	21	説話	哲学之将来	井上圓了	11	
7	10		1894	10	21	蒐録	高田派松山忍成講師碑陰記		13	
7	10		1894	10	21	蒐録	誌三首（日種宗淵）		14	
7	10		1894	10	21	蒐録	芙蓉峰	富井隆信	14	
7	10		1894	10	21	蒐録	真宗勧信要訣	弓波明哲稿	15	
7	10		1894	10	21	蒐録	西蔵法王タン、ラマ支那巡錫日記（七年六号の続き）	藤井瑞枝子譯	18	
7	10		1894	10	21	史伝	明暦、元禄年間に於ける真宗の二大詩人（其一）	翠村隠士	19	
7	10		1894	10	21	批評			21	
7	10		1894	10	21	雑報			24	
7	10		1894	10	21	特別広告				

7	10		1894	10	21	広告	数件			
7	10		1894	10	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
7	11		1894	11	21		大法主殿御直諭(附録)		1	
7	11		1894	11	21	社説	伝道訣		2	
7	11		1894	11	21	論説	自持論(承前)	中野芳涯	3	
7	11		1894	11	21	説話	自然教育	井上圓了	6	
7	11		1894	11	21	説話	四十八願茗談集(承前)	南溟著	10	
7	11		1894	11	21	蒐録	艶花明月(其二)	翠村隠士	14	
7	11		1894	11	21	蒐録	半生之履歴	大島豊南	15	
7	11		1894	11	21	蒐録	光輪寺第十一世樹心院忍海法師碑陰記		17	
7	11		1894	11	21	蒐録	光輪寺第十二世■院善生法師碑記		17	文字潰れ
7	11		1894	11	21	蒐録	真宗勧信要訣(前号の続き)	弓波明哲稿	17	
7	11		1894	11	21	詞藻	3件		20	
7	11		1894	11	21	批評	数件		21	
7	11		1894	11	21	史伝	明暦、元禄年間に於ける真宗の二大詩人(其二)	翠村隠士	23	
7	11		1894	11	21	雑報	16件		25	
7	11		1894	11	21	特別広告				
7	11		1894	11	21	広告	数件			
7	12		1894	12	21	社説	盗を看て縄		1	
7	12		1894	12	21	論説	王法為本に関する或問一則	連羽道人　朝日保寧	2	
7	12		1894	12	21	論説	大事因縁経の真儀を論ず	花田凌雲	2	
7	12		1894	12	21	説話	四十八願茗談集(承前)	南溟著	8	
7	12		1894	12	21	説話	道徳論	井上圓了	11	
7	12		1894	12	21	詞藻	10件		14	
7	12		1894	12	21	蒐録	艶花明月(其三)	翠村隠士	20	
7	12		1894	12	21	批評	新刊雑評	星軒逸史	21	
7	12		1894	12	21	雑報	9件		23	
7	12		1894	12	21	特別広告				
7	12		1894	12	21	広告	数件			
7	12		1894	12	21	附録	原人論講義	大学林講師　熱田霊知		本文無し、目次のみ
8	1		1895	1	21	本如上人江洲小濱御書				
8	1		1895	1	21	社説	現今日本仏徒の思想界		1	
8	1		1895	1	21	論説	井観私言	南軒	4	
8	1		1895	1	21	論説	四十八願茗談集(承前)	南溟著	9	
8	1		1895	1	21	蒐録	女人成仏の法語		13	
8	1		1895	1	21	蒐録	艶花明月(其四)	翠村隠士	13	
8	1		1895	1	21	蒐録	年始の感(偶感短章)	逃名庵主人	14	
8	1		1895	1	21	蒐録	御忌	大島豊南	14	
8	1		1895	1	21	詞藻	6件		15	
8	1		1895	1	21	批評	新刊雑評	星軒逸史	18	
8	1		1895	1	21	史伝	日蓮上人の真相	鷲空老人	18	
8	1		1895	1	21	雑報	16件		22	
8	1		1895	1	21	特別広告				
8	1		1895	1	21	広告				
8	1		1895	1	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
8	2		1895	2	21	社説	宗学部内の弊習を改良せよ		1	
8	2		1895	2	21	論説	主伴具足	御風子	6	
8	2		1895	2	21	説話	司教斎藤聞精の説教		9	
8	2		1895	2	21	説話	四十八願茗談集(承前)	南溟著	12	
8	2		1895	2	21	説話	軍人覺悟一夕話	赤松連城述	16	
8	2		1895	2	21	蒐録	伊吹蓬(承前)	佐々木恵璋	20	
8	2		1895	2	21	詞藻	19件		22	
8	2		1895	2	21	寄書	仏教家と法律	隈井了詮	25	
8	2		1895	2	21	寄書	仏語の地名等	拓寛雄	26	
8	2		1895	2	21	雑報	16件		27	
8	2		1895	2	21	特別広告				
8	2		1895	2	21	広告	数件			
8	3		1895	3	21	社説	政界の風潮		1	
8	3		1895	3	21	論説	東洋宗教の盟主としての日本	文学史　薗田宗恵	5	
8	3		1895	3	21	論説	霊妙なる「エナジー」	農学士　孤峰学人	8	
8	3		1895	3	21	説話	四十八願茗談集(承前)	南溟著	13	
8	3		1895	3	21	説話	軍人覺悟一夕話(承前)	赤松連城述	18	
8	3		1895	3	21	蒐録	伊吹蓬(承前)	翠村隠士	21	
8	3		1895	3	21	蒐録	硯潮餘滴	水外居主人	23	
8	3		1895	3	21	詞藻	14件		27	
8	3		1895	3	21	月旦			29	
8	3		1895	3	21	散華			34	
8	3		1895	3	21	雑報	7件		35	
8	3		1895	3	21	特別広告				
8	3		1895	3	21	広告	数件			
8	3		1895	3	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
8	4		1895	4	21	社説	教界革変の大動機		1	
8	4		1895	4	21	論説	形面上者是東洋	農学士　孤峰学人	4	
8	4		1895	4	21	説話	四十八願茗談集(承前)	南溟著	8	
8	4		1895	4	21	説話	軍人法話軍の首途	勧学　嶋地黙雷　口述	12	
8	4		1895	4	21	蒐録	硯潮餘滴(承前)	水外居主人	14	
8	4		1895	4	21	詞藻	6件		17	
8	4		1895	4	21	月旦			18	
8	4		1895	4	21	史伝	奐都紀念祭に際し延歴の仏教を懐く	富井南軒	23	
8	4		1895	4	21	寄書	真宗教義の弱點を説評す	瀬成世眼	27	
8	4		1895	4	21	批評			30	
8	4		1895	4	21	雑報	14件		32	
8	4		1895	4	21	散華			36	
8	4		1895	4	21	特別広告				
8	4		1895	4	21	広告	数件			
8	4		1895	4	21	附録	木山名和両氏の書信			本文無し、目次のみ
8	5		1895	5	21	社説	奢侈禁遏説		1	
8	5		1895	5	21	説話	軍人法話軍の首途	嶋地黙雷口述	4	
8	5		1895	5	21	論説	形面上者是東洋(第二)	農学士　孤峰学人	6	
8	5		1895	5	21	説話	四十八願茗談集	南溟著	10	
8	5		1895	5	21	蒐録	塔影漫語	壬生郷愿仰録	12	
8	5		1895	5	21	蒐録	夜雨草廬を音なうの記	翠村隠士	16	
8	5		1895	5	21	蒐録	硯潮餘滴	水外居主人	19	
8	5		1895	5	21	詞藻	7件		22	
8	5		1895	5	21	月旦			24	
8	5		1895	5	21	寄書	真宗教義の弱點點點を許す	瀬成世眼	29	
8	5		1895	5	21	新刊批評			31	
8	5		1895	5	21	雑報	7件		33	
8	5		1895	5	21	散華			36	
8	5		1895	5	21	特別広告				
8	5		1895	5	21	広告				
8	5		1895	5	21	附録	原人論講義			本文無し、目次のみ

8	5		1895	5	21	附録	高祖大師頌徳唱歌	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
8	6		1895	6	21	社説	再び宗学に関する私見を述べる		1	
8	6		1895	6	21	論説	杜鵑啼血	亡名児	7	
8	6		1895	6	21	論説	真宗学事史談	東山臥客	10	
8	6		1895	6	21	説話	軍人法話軍の首途	嶋地黙雷口述	13	
8	6		1895	6	21	蒐録	硯潮餘滴	水外居主人	16	
8	6		1895	6	21	詞藻	2件		18	
8	6		1895	6	21	月旦			20	
8	6		1895	6	21	史伝	津戸三朗為守	富井南軒	24	
8	6		1895	6	21	批評			29	
8	6		1895	6	21	雑報	5件		30	
8	6		1895	6	21	散華			36	
8	6		1895	6	21	特別広告				
8	6		1895	6	21	広告				
8	6		1895	6	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
8	7		1895	7	21	社説	宗教の革命		1	
8	7		1895	7	21	論説	形面上者是東洋（第三）	孤峯学人	5	
8	7		1895	7	21	説話	婦人の教育	日野居龍演説	9	
8	7		1895	7	21	説話	千嶋の事情	里見法爾	14	
8	7		1895	7	21	蒐録	伊吹逢（承前）	翠村隠士	20	
8	7		1895	7	21	月旦			22	
8	7		1895	7	21	詞藻	2件		27	
8	7		1895	7	21	寄書	従軍見聞録	弓波明哲	30	
8	7		1895	7	21	雑報	5件		33	
8	7		1895	7	21	散華			35	
8	7		1895	7	21	広告				
8	7		1895	7	21	附録	原人論講義	大学林教授　熱田霊知		本文無し、目次のみ
8	7		1895	7	21	附録	伝道会特別広告			本文無し、目次のみ
8	8		1895	8	21	社説	仏教と和歌		1	
8	8		1895	8	21	論説	形面上者是東洋	孤峯学人	2	
8	8		1895	8	21	論説	鋤夏策	推枕軒孤眠	7	
8	8		1895	8	21	説話	従軍布教報告	名和淵海	7	
8	8		1895	8	21	説話	四十八願茗談集	光■寺南溟	15	文字潰れ
8	8		1895	8	21	蒐録	偶感録	水外居主人	21	
8	8		1895	8	21	蒐録	たびころも	侶松女■	22	文字潰れ
8	8		1895	8	21	詞藻	1件		24	
8	8		1895	8	21	月旦	基督教の情勢を顧よ		26	
8	8		1895	8	21	月旦	妄語戒即ち真語律に就いて		26	
8	8		1895	8	21	月旦	印度戯曲の研究		27	
8	8		1895	8	21	月旦	今後の国民と教案		2	
8	8		1895	8	21	月旦	真言宗の研究		28	
8	8		1895	8	21	月旦	神戸の宗教		29	
8	8		1895	8	21	雑報	16件		30	
8	8		1895	8	21	散華	15件		36	
8	8		1895	8	21	広告				
8	8		1895	8	21	附録	原人論講義	熱田霊知		本文無し、目次のみ
8	9		1895	9	21	社説	宗教は社会を離れしむべからず		1	
8	9		1895	9	21	社説	信仰と自重心		4	
8	9		1895	9	21	論説	形面上者是東洋	孤峯学人	7	
8	9		1895	9	21	論説	婦徳論	湯川具品	12	
			1895	9	21	論説	婦徳論	妻木香園	13	
8	9		1895	9	21	説話	四十八願茗談集	光■寺南溟	15	文字潰れ
8	9		1895	9	21	蒐録	旅僧	南軒	21	
8	9		1895	9	21	蒐録	詩歌数首	杏南小史	21	
8	9		1895	9	21	詞藻	講習餘事	日野珠堂	26	
8	9		1895	9	21	詞藻	詩歌数首		26	
8	9		1895	9	21	寄書	偶感録	不知居蓬軒	29	
8	9		1895	9	21	雑報	16件		31	
8	9		1895	9	21	散華	15件		36	
8	9		1895	9	21	広告				
8	9		1895	9	21	附録	原人論講義	熱田霊知		本文無し、目次のみ
11	1		1898	1	30	論説	伝道の精神を陳て方今の急務を論ず	小野宏道	1	
11	1		1898	1	30	論説	廬山の慧遠	山内晋	6	
11	1		1898	1	30	論説	雑居準備発編	小栗憲一述	7	
11	1		1898	1	30	説話	吉水大師遺語訣	藍水道人	24	
11	1		1898	1	30	説話	仏教の冤罪を雪く	麻生道戒	29	
11	1		1898	1	30	説話	厭世教	鈴木法探	32	
11	1		1898	1	30	説話	一大男子論	名和淵海	34	
11	1		1898	1	30	時事	英照皇太后の御一週年祭		39	
11	1		1898	1	30	時事	本派本願寺の報恩講		39	
11	1		1898	1	30	時事	亀山本徳寺の後職		39	
11	1		1898	1	30	時事	真宗大谷派の門徒数		39	
11	1		1898	1	30	時事	年頭御禮の端書に就いて		39	
11	1		1898	1	30	時事	本派総会所新築工事		40	
11	1		1898	1	30	時事	慧燈大師回忌の大法会		40	
11	1		1898	1	30	時事	真宗伝道会の大懇親会		40	
11	1		1898	1	30	広告				
11	2		1898	1	30	社説	恵燈大師の御遠忌に就いて		1	
11	2		1898	1	30	論説	本蓍燈教諭の方針は個人教誨視察の成績に基灰せし理由	千輪性海	6	
11	2		1898	1	30	論説	答質疑	司教　姫宮大圓	9	
11	2		1898	1	30	論説	念仏法門の変遷に就いて所感を述べる	鈴木法探	11	
11	2		1898	1	30	蒐録	楠玉諦老和尚の書幹	姫宮大圓	14	
11	2		1898	1	30	蒐録	某の説教に参詣して感あり	岩田義玄	15	
11	2		1898	1	30	蒐録	哭中村確堂先生	中岡英	16	
11	2		1898	1	30	蒐録	寒郊庚馬歌	中岡英	16	
11	2		1898	1	30	蒐録	七組讃	履善師	17	
11	2		1898	1	30	蒐録	聖皇讃	全師	17	
11	2		1898	1	30	蒐録	浄土論讃	全師	17	
11	2		1898	1	30	蒐録	ひとり旅今様依二河譬論	鶴田誠吾	18	
11	2		1898	1	30	説話	明恵上人法話	剛庵道人	19	
11	2		1898	1	30	説話	信受奉公録	河野方賢	23	
11	2		1898	1	30	詞藻	19件		27	
11	2		1898	1	30	雑報	8件		29	
11	3		1898	3	28	論説	国教論	膽岳　藤島了穏	1	
11	3		1898	3	28	論説	進化的理論説に就いて	文学史　佐竹観海	4	
11	3		1898	3	28	論説	南無三宝	阿雲　川上貞信	10	
11	3		1898	3	28	蒐録	流鶯囀々	梅田干界	12	
11	3		1898	3	28	逸話	最も恐れるべきもの	名和淵海	16	
11	3		1898	3	28	逸話	御一代聞書に就いて	大学林　綜理　安国淡雲	20	
11	3		1898	3	28	時評	宗門の繁栄		25	
11	3		1898	3	28	時評	西六條青年徳育会		25	
11	3		1898	3	28	時評	本山の大法会準備		25	
11	3		1898	3	28	時評	施本の美学		26	

11	3		1898	3	28	時評	書生の芝居		26	
11	3		1898	3	28	時評	支那国布教		27	
11	3		1898	3	28	時評	布哇開教		27	
11	3		1898	3	28	時評	台湾布教の成績		27	
11	3		1898	3	28	時評	関西仏教青年会会員動静録		28	
11	3		1898	3	28	会報	会員動静録		29	
11	3		1898	3	28	広告	数件			
11	4		1898	4	30	社説	時勢を教勢を混すべからず		1	
11	4		1898	4	30	論説	タノムタスケ給え両語考	嶋地黙雷	5	
11	4		1898	4	30	論説	仏家處世論	弓波明哲	8	
11	4		1898	4	30	論説	事業を成すものは時を知るを責ぶ	古賀生	13	
11	4		1898	4	30	法話	御一代聞書に就いて	大学林綜理　安国淡雲	15	
11	4		1898	4	30	法話	法話	瑕丘宗興	18	
11	4		1898	4	30	蒐録	真宗臣との心得に就いて	故崇廓	21	
11	4		1898	4	30	蒐録	真実院苏園大瀛和尚の消息		25	
11	4		1898	4	30	蒐録	仏教因果の大録		27	
11	4		1898	4	30	蒐録	北支那所見	池田済	29	
11	4		1898	4	30	詞藻	游斐紀蹤	日野珠堂	32	
11	4		1898	4	30	詞藻	外数篇		33	
11	4		1898	4	30	雑報	10件		33	
11	4		1898	4	30	会報	会員動静録		43	
11	4		1898	4	30	広告	数件			
11	5		1898	5	30	社説	僧紀振粛論		1	
11	5		1898	5	30	論説	解惑一則　開導教校監補教	朝日保寧	7	
11	5		1898	5	30	蒐録	学林小史	東山閑人司教　慧雲含潤	11	
11	5		1898	5	30	蒐録	四十年前の真宗本派の学侶　在麗和	文学士　愛樸仙史	13	
11	5		1898	5	30	蒐録	冥府十王	大学林高等科　松岡秀見	24	
11	5		1898	5	30	蒐録	祝文	足利義山 姫宮大圓	27	
11	5		1898	5	30	蒐録	舊記一則	千界学人	29	
11	5		1898	5	30	説話	法話	元大学林綜理　安国淡雲	32	
11	5		1898	5	30	説話	霊魂不滅の説	名和淵海	36	
11	5		1898	5	30	説話	降誕会に就いて	鈴木法探	41	
11	5		1898	5	30	詞藻	2件		45	
11	5		1898	5	30	雑報	10件		49	
11	5		1898	5	30	評論一束			55	
11	5		1898	5	30	広告	数件			
11	6		1898	6	30	社説	仏教徒最近の弊習		1	
11	6		1898	6	30	論説	道徳の理想に就いて	文学史　佐竹観海	9	
11	6		1898	6	30	蒐録	学林小史	東山半隠　慧雲含潤	22	
11	6		1898	6	30	蒐録	北支那所見	池田済	26	
11	6		1898	6	30	蒐録	臺濤の宗教	平田博慈	29	
11	6		1898	6	30	蒐録	與某生書	馬場純	32	
11	6		1898	6	30	法話	小経讃に就いて	勧学　足利義山	34	
11	6		1898	6	30	法話	御一代聞書	一等巡教使　安国淡雲	37	
11	6		1898	6	30	法話	降誕会に就いて	補教　鈴木法探	42	
11	6		1898	6	30	詞藻	6件		45	
11	6		1898	6	30	雑報	4件		47	
11	6		1898	6	30	評論一束			52	
11	6		1898	6	30	広告	数件其他			
13	9		1900	9	28	社説	伝道会の改革に就いて会員諸君に望む	名和淵海		
13	9		1900	9	28	論説	仏舎利叢談	弓波明哲		
13	9		1900	9	28	論説	決私不同辨	釋護命		
13	9		1900	9	28	説話	以呂波の話	島地嘿雷		
13	9		1900	9	28	説話	欧亞紀行談	武田篤初		
13	9		1900	9	28	説話	成仏の遅速難易に就いて	提大暢堂		
13	9		1900	9	28	説話	業道論	星野貫了		
13	9		1900	9	28	蒐録	返々止心談	西精道		
13	9		1900	9	28	蒐録	秋声漫録	河野済波		
13	9		1900	9	28	時事	本派の伺と宗教局長の通牒			
13	9		1900	9	28	時事	模範仏教中学			
13	9		1900	9	28	時事	大谷派本願寺の財政			
13	9		1900	9	28	時事	川上貞信氏の北京籠城談			
13	9		1900	9	28	時事	安心要義に関する質疑			
13	9		1900	9	28	時事	仏教会に於ける東本願寺			
13	9		1900	9	28	時事	学校移転の噂			
13	9		1900	9	28	時事	本山近状			
13	9		1900	9	28	本山録事				
13	9		1900	9	28	会計報告				
13	10		1900	10	25	社説	活仏法		1	明治33年10月25日
13	10		1900	10	25	社説	活慈善		4	
13	10		1900	10	25	論説	非御乗示顕正録	学仏道人	8	
13	10		1900	10	25	論説	たすけたまえとたのむに付いて	利井鮮妙	11	
13	10		1900	10	25	論説	光明秘事	姫宮止観	18	
13	10		1900	10	25	論説	欧洲宗教の革命	日野安住	20	
13	10		1900	10	25	説話	以呂波の話	島地嘿雷	24	
13	10		1900	10	25	説話	欧亞紀行談	武田篤初	29	
13	10		1900	10	25	説話	業道論	星野貫了	34	
13	10		1900	10	25	説話	裏消息	佐藤巖映	38	
13	10		1900	10	25	蒐録	真宗秘要鈔の一節	法霖大徳	43	
13	10		1900	10	25	蒐録	返々止心談	西精道	46	
13	10		1900	10	25	蒐録	秋声漫録	河野済波	48	
13	10		1900	10	25	時事	内務省令第三十八号に就いての解釈		50	
13	10		1900	10	25	時事	河野廣中氏の談話		53	
13	10		1900	10	25	時事	寺院の勧募省令に就いて		54	
13	10		1900	10	25	時事	宗教の感化力		55	
13	10		1900	10	25	時事	智山派学林		55	
13	10		1900	10	25	時事	本派集会の状況		56	
13	10		1900	10	25	時事	教学参議部会議		63	
13	10		1900	10	25	時事	天龍寺峨山禅師寂す		63	
13	10		1900	10	25	時事	藤井宣正氏の欧洲行		65	
13	10		1900	10	25	時事	特選会衆の新任		66	
13	10		1900	10	25	本山録事			66	
13	10		1900	10	25	会計報告				
13	11		1900	11	30	社説	僧風釐正論	踏氷	1	
13	11		1900	11	30	論説	非御垂顕正録	学仏道人	6	
13	11		1900	11	30	論説	欧洲宗教の改革	日野安住	11	
13	11		1900	11	30	説話	以呂波の話	島地黙雷	13	
13	11		1900	11	30	説話	欧亞紀行談	島地嘿雷	19	
13	11		1900	11	30	説話	真宗俗諦辨	掬月政臣	22	
13	11		1900	11	30	説話	業道論	星野貫了	25	
13	11		1900	11	30	蒐録	文中女学校参観の記	妻木直良	28	
13	11		1900	11	30	蒐録	真宗安心ほこりたたき	抑堂山人	32	

13	11		1900	11	30	蒐録	唱歌二篇	同	35	
13	11		1900	11	30	時事	大学林同窓会第二大学の形況		36	
13	11		1900	11	30	時事	宗教法案提出に決す		39	
13	11		1900	11	30	時事	水戸義公の贈位		39	
13	11		1900	11	30	時事	贈位の勅語		40	
13	11		1900	11	30	時事	京都医学校仏教青年会演説		40	
13	11		1900	11	30	本山録事			48	
13	11		1900	11	30	会計報告				
13	11		1900	11	30	広告				
13	12		1900	12	28	社説	歳末の辞		1	
13	12		1900	12	28	論説	知識と信仰	梅径閑人	5	
13	12		1900	12	28	論説	嗚呼首府の伝道	廣橋連城	10	
13	12		1900	12	28	論説	人生源頭の活泉	隈越生	13	
13	12		1900	12	28	説話	佛教大学に於ける講話	島地嘿雷	15	
13	12		1900	12	28	説話	欧亞紀行談	武田篤初	21	
13	12		1900	12	28	説話	倫理に於いて	宮崎幹之助	25	
13	12		1900	12	28	蒐録	聞信金剛決	釋了嚴	29	
13	12		1900	12	28	時事	本派御裏方の御病気		33	
13	12		1900	12	28	時事	藤島了穏師の帰朝		34	
13	12		1900	12	28	時事	布哇に於ける布教		34	
13	12		1900	12	28	時事	白人の求法者		35	
13	12		1900	12	28	時事	真言宗分離の勧告書		36	
13	12		1900	12	28	時事	仏教高等中学の概況		37	
13	12		1900	12	28	時事	錦織剛清書を伊藤大動位に上る		38	
13	12		1900	12	28	時事	清国駐在布教者の音信		39	
13	12		1900	12	28	本山録事			40	
13	12		1900	12	28	会計報告				
13	12		1900	12	28	広告				
14	1		1901	1	31	社説	内典教科書編成の急務		1	
14	1		1901	1	31	論説	伝教大師の天台宗に於ける系統	在京帝国大学講師　前田慧雲	4	
14	1		1901	1	31	論説	華厳法恩観	文学士　中尾教審	7	
14	1		1901	1	31	論説	第十九世紀に於ける文明の特質	文学士　田淵友彦	10	
14	1		1901	1	31	論説	知識と信仰	梅径閑人　鴨鶴稿	13	
14	1		1901	1	31	論説	列国従軍布教概見(一)	在北京　井上叩端	17	
14	1		1901	1	31	説話	大日本仏教慈善会財団設立の主意	一等巡教使　武田篤初 社員某筆記	19	
14	1		1901	1	31	説話	仏国に於ける萬国宗教大会の状況	仏国哲学博士　藤島了穏 社員某筆記	23	
14	1		1901	1	31	説話	和讃に就いて法話	某大徳陳唱	26	
14	1		1901	1	31	蒐録	聞信金剛決巻之中	釋了嚴釋	30	
14	1		1901	1	31	蒐録	談々片々	不得已	34	
14	1		1901	1	31	蒐録	船中漫録	藤井宣正	35	
14	1		1901	1	31	時事	米国通信		39	
14	1		1901	1	31	時事	西有線山師の狂句		40	
14	1		1901	1	31	本山録事			42	
14	1		1901	1	31	会計広告				
14	2		1901	2	28	社説	真仏教		1	
14	2		1901	2	28	論説	華厳法界観	中尾教審	8	
14	2		1901	2	28	論説	布教の実効を望む	林嶺信	14	
14	2		1901	2	28	説話	慈善財団設立主意に於いて	赤松連城	17	
14	2		1901	2	28	説話	仏国に於ける萬国宗教大会の状況	藤島了穏	22	
14	2		1901	2	28	説話	第十九世紀に於ける文明の特質	田淵友彦	26	
14	2		1901	2	28	説話	和讃に就いて法話	某大徳	30	
14	2		1901	2	28	蒐録	聞信金剛決	釋了嚴稿	35	
14	2		1901	2	28	蒐録	香港見聞録	藤井宣正	28	
14	2		1901	2	28	時事	本派管事会議外数件		47	
14	2		1901	2	28	本山録事				
14	2		1901	2	28	会計広告				
14	3		1901	3	28	社説	両本願寺の出来事		1	
14	3		1901	3	28	論説	華厳法界観	中尾教審	4	
14	3		1901	3	28	論説	二諦教報を読みて所帰の体を論ず	杞憂道人	7	
14	3		1901	3	28	論説	所帰の体に就いて占部氏一派を駁す	南豊呉岬生	11	
14	3		1901	3	28	説話	仏国に於ける萬国宗教大会の状況	藤島了穏	18	
14	3		1901	3	28	説話	和讃に付て法話	某大徳	21	
14	3		1901	3	28	蒐録	真の信徒	服部範嶺	26	
14	3		1901	3	28	蒐録	新嘉玻所見	藤井宣正	31	
14	3		1901	3	28	蒐録	半閑追想録	姫宮止観	41	
14	3		1901	3	28	詞苑			43	
14	3		1901	3	28	時事			45	
14	3		1901	3	28	本山録事			55	
14	3		1901	3	28	会計広告				
14	4		1901	4	28	社説	真宗八派の同盟に就いて		1	
14	4		1901	4	28	社説	大菩提会発会式に就いて		1	
14	4		1901	4	28	社説	大菩提会と拝瞻会		1	
14	4		1901	4	28	学淵	二諦教報を読みて所帰の体を論ず(前号の続)	杞憂道人	3	
14	4		1901	4	28	学淵	所帰の体に就いて占部氏一派を駁す(承前)	南豊呉岬生	8	
14	4		1901	4	28	学淵	華厳法界観(前号の続)	文学士　中尾教審	16	
14	4		1901	4	28	教海	某大徳法話	某筆記	21	
14	4		1901	4	28	教海	二諦法門の大綱に就いて	星野藍水	24	
14	4		1901	4	28	詩藻			31	
14	4		1901	4	28	通信	彼南港通信	藤井宣正	32	
14	4		1901	4	28	時事			35	
14	4		1901	4	28	本山録事			41	
14	4		1901	4	28	会計広告				
14	9		1901	9	28	社説	教友会の設立に就いて		1	
14	9		1901	9	28	学淵	七祖論釋大綱(前号の続)		3	
14	9		1901	9	28	教海	御文章に就いて(承前)	故勧学　舟橋了要和尚	7	
14	9		1901	9	28	教海	公徳の養成	赤松連城	12	
14	9		1901	9	28	教海	自利利他	藤島了穏	15	
14	9		1901	9	28	教海	世界の創造者	名和淵海	20	
14	9		1901	9	28	教海	妻君の責任	藤原龍存	23	
14	9		1901	9	28	論陣	教学報知を読て堀順乗君の所論を評す		27	
14	9		1901	9	28	通信	古倫母通信	藤井宣正	31	
14	9		1901	9	28	詩藻			31	
14	9		1901	9	28	時事			35	
14	9		1901	9	28	本山録事			39	
14	9		1901	9	28	会金報告				
14	10		1901	10	31	社説	社会に対する仏教徒の責任		1	
14	10		1901	10	31	学淵	三家安心辨	某古徳	6	
14	10		1901	10	31	学淵	四悉壇管見	小野島護城	10	
14	10		1901	10	31	教海	御文章に就いて(承前)	故勧学　舟橋了要和尚	15	
14	10		1901	10	31	論陣	教学報知を読て堀順乗君の所論を評す		24	

14	10		1901	10	31	論陣	真信第四十七号に吼之家君か余に酬ゆるの書を読む真信記者に答える		30	
14	10		1901	10	31	詩藻	三夜荘即事外九章		33	
14	10		1901	10	31	雑録	亡師と亡友	妻木白巖	34	
14	10		1901	10	31	通信	古論母通信	藤井宣正	40	
14	10		1901	10	31	時事			43	
14	10		1901	10	31	本山録事			49	
14	10		1901	10	31	会金報告				
14	11		1901	11	31	社説	管事制度果して廃すべき乎		1	
14	11		1901	11	31	学淵	帰命義趣	足利義山	4	
14	11		1901	11	31	学淵	大乗非仏説に対する考	前田慧雲	7	
14	11		1901	11	31	学淵	文類編成と法華経	斯波隋性	12	
14	11		1901	11	31	教海	御文章に就いて(承前)	故勧学　舟橋了要和尚	17	
14	11		1901	11	31	教海	会員諸君に望む	一二三盡演	20	
14	11		1901	11	31	詩藻	2件		27	
14	11		1901	11	31	蒐録	海浴餘談	杉浦實淳	28	
14	11		1901	11	31		かきあつめ集	河野濟波	32	
14	11		1901	11	31	時事			36	
14	11		1901	11	31	本山録事			38	
14	11		1901	11	31	会金報告				
14	11		1901	11	31	広告				
14	12		1901	12	30	社説	明治三十四年を送る		1	
14	12		1901	12	30	学淵	大乗非仏説に対する考(承前)	前田慧雲	3	
14	12		1901	12	30	学淵	浄土教主義	明教院雪山師	13	
14	12		1901	12	30	学淵	たすけたまへの義説	足利義山	15	
14	12		1901	12	30	教海	御文章に就いて(接前)	故　舟橋了要	20	
14	12		1901	12	30	教海	学解よりも信念を求めよ	伊井智量	27	
14	12		1901	12	30	詩藻	4件		33	
14	12		1901	12	30	時事			34	
14	12		1901	12	30	本山録事			36	
14	12		1901	12	30	会金報告				
15	2		1902	2	28	社説	真正なる法義の■張		1	
15	2		1902	2	28	学淵	タノムノ義相	足利義山	5	
15	2		1902	2	28	学淵	大乗非仏説に対する考(承前)	前田慧雲	7	
15	2		1902	2	28	学淵	華厳経の説相を述ぶ	宮武教群	15	
15	2		1902	2	28	教海	御文章に就いて(接前)	故　船橋了要	19	
15	2		1902	2	28	蒐録	妄想録	吉村日州	24	
15	2		1902	2	28	蒐録	雲遍■語	灰吹道人	29	
15	2		1902	2	28	蒐録	筆のしたたり	清波生	30	
15	2		1902	2	28	詞藻	4件		33	
15	2		1902	2	28	時事			34	
15	2		1902	2	28	本山録事			39	
15	2		1902	2	28	会金報告				
15	3		1902	3	30	社説	宗教法案提出に関する各週の運動		1	
15	3		1902	3	30	学淵	仏教と外道	前田慧雲	2	
15	3		1902	3	30	教海	真宗安心問答	渡邊猛言	6	
15	3		1902	3	30	教海	会員諸君に告ぐ	一二三盡演	12	
15	3		1902	3	30	教海	仏教大意	名和淵海	17	
15	3		1902	3	30	蒐録	妄想録	吉村日州	20	
15	3		1902	3	30	蒐録	仏教子を警む	吹殻道人	25	
15	3		1902	3	30	蒐録	梵鐘銘並序		26	
15	3		1902	3	30	詞藻			27	
15	3		1902	3	30	時事			27	
15	3		1902	3	30	本山録事			21	私立佛教大学の法規
15	3		1902	3	30	会金報告				
15	4		1902	4	30	社説	布教会に希望す		1	
15	4		1902	4	30	教海	御文章に就いて	故勧学　船橋了要	4	
15	4		1902	4	30	教海	真宗安心問答	贈輔教　渡辺猛言	10	
15	4		1902	4	30	教海	危いかな心	弓波明哲	17	
15	4		1902	4	30	蒐録	故勧学百叡師逸事	信斎学人	21	
15	4		1902	4	30	蒐録	妄想録	吉村日州	22	
15	4		1902	4	30	誌藻			26	
15	4		1902	4	30	時事			27	
15	4		1902	4	30	本山録事			31	
15	4		1902	4	30	会金報告				
15	5		1902	5	30	社説	宗意異解者に対する處置方私見		1	
15	5		1902	5	30	学淵	小川翁の法話集を読む	勧学　東洋圓月	4	
15	5		1902	5	30	学淵	必具名号	足利義山	6	
15	5		1902	5	30	教海	覚如上人御遠忌参拝に告ぐ	勧学　伊井智量	10	
15	5		1902	5	30	教海	覚如上人御遠忌法会に就いて	勧学　小山憲榮	13	
15	5		1902	5	30	教海	御文章に就いて	故勧学　船橋了要	16	
15	5		1902	5	30	教海	仏教大意	二等巡教使　名和淵海	23	
15	5		1902	5	30	蒐録	大法主猊下より大洲師を弔せられたる文		25	
15	5		1902	5	30	蒐録	嶋地黙雷上人の書簡		26	
15	5		1902	5	30	蒐録	菅了法より藤嶋瞻岳への手紙		27	
15	5		1902	5	30	蒐録	送松原深諦君奉命之英国		27	
15	5		1902	5	30	蒐録	妄想録	吉村日州	28	
15	5		1902	5	30	時事			31	
15	5		1902	5	30	本山録事			35	
15	5		1902	5	30	会金報告				
15	6		1902	6	30	社説	教学局員各位に望む		1	
15	6		1902	6	30	学淵	光号因縁	足利義山	4	
15	6		1902	6	30	学淵	人法不二	宮武教群	9	
15	6		1902	6	30	学淵	小川翁の法話集を読む(承前)	勧学　東陽圓月	12	
15	6		1902	6	30	教海	欣浄厭穢の辨	弓波明哲	22	
15	6		1902	6	30	教海	公徳に就いて	藤島了穏	27	
15	6		1902	6	30	教海	徳文章に就いて	故勧学　船橋了要	32	
15	6		1902	6	30	教海	俗難解釈	五因道人	38	
15	6		1902	6	30	蒐録	経滅経式敬白文	藤島了穏	40	
15	6		1902	6	30	蒐録	降誕会の歌	庠月	41	
15	6		1902	6	30	蒐録	妄想録	吉村日州	42	
15	6		1902	6	30	詩藻			46	
15	6		1902	6	30	時事			47	
15	6		1902	6	30	本山録事			52	
15	6		1902	6	30	会金報告				
15	7		1902	7	30	社説	巡教使の精撰と新財源の発見		1	
15	7		1902	7	30	学淵	所帰人法	足利義山	3	
15	7		1902	7	30	学淵	仏教者は偏執屯べからず諸宗の宗義遂に一致に帰すればなり	提山鴨堂	7	
15	7		1902	7	30	教海	御文書に就いて	故勧学　船橋了要	17	
15	7		1902	7	30	教海	仏教大意	名和淵海	22	
15	7		1902	7	30	教海	聞蚊虫之羽音有感	石洲洪範	25	
15	7		1902	7	30	蒐録	万国宗教大擴張会書記長より、藤島了稔氏への書簡		27	
15	7		1902	7	30	蒐録	妄想録	吉村日州	31	

15	7		1902	7	30	誌藻			35	
15	7		1902	7	30	時事			36	
15	7		1902	7	30	本山録事			39	
15	7		1902	7	30	会金報告				
15	8		1902	8	30	社説	東本願寺の粉擾に就いて		1	
15	8		1902	8	30	学淵	所帰人法（承前）	足利義山	3	
15	8		1902	8	30	教海	御文章に就いて	故勧学　船橋了要	8	
15	8		1902	8	30	教海	法話	輔教　石見洪範	12	
15	8		1902	8	30	教海	死仏教と活仏教	輔教　弓波明哲	14	
15	8		1902	8	30	教海	法話	内藤大観	18	
15	8		1902	8	30	教海	日本国民の現在及び将来に就いて	宮武教群	22	
15	8		1902	8	30	蒐録	想い出しのまま書き申候	石見　素鷲三不二莽	29	
15	8		1902	8	30	蒐録	故勧学百叡師の逸事	信斎学人	29	
15	8		1902	8	30	蒐録	慶讃詞	妻木僧暢	29	
15	8		1902	8	30	詩藻			30	
15	8		1902	8	30	時事			32	
15	8		1902	8	30	本山録事			39	
15	8		1902	8	30	会金報告				
15	9		1902	9	30	社説	仏骨は名古屋市に譲り渡すべし		1	
15	9		1902	9	30	社説	仏骨は信仰の目的物にあらず		1	
15	9		1902	9	30	社説	覚王殿の建設は壮大なるを要せず		2	
15	9		1902	9	30	社説	仏骨と大菩提会は無関係なし		2	
15	9		1902	9	30	学淵	十念誓意	勧学　足利義山	4	
15	9		1902	9	30	教海	御文章に就いて	故勧学　船橋了要	8	
15	9		1902	9	30	教海	宗教の人世に必要なる所以	吉村成覺	14	
15	9		1902	9	30	蒐録	仰誓師戯作道歌	信斎学人	26	
15	9		1902	9	30	蒐録	道芝の記	吉村日州	26	
15	9		1902	9	30	詩藻			39	
15	9		1902	9	30	時事			40	
15	9		1902	9	30	本山録事			43	
15	9		1902	9	30	会金報告				
15	10		1902	10	30	社説	賢明なる会衆諸君を迎える		1	
15	10		1902	10	30	学淵	般若皆空論概要	佐藤巖英	8	
15	10		1902	10	30	学淵	信疑分斎	勧学　足利義山	17	
15	10		1902	10	30	教海	御文章に就いて	故勧学　船橋了要	20	
15	10		1902	10	30	教海	質素を旨とすべし	吉村成覺	28	
15	10		1902	10	30	蒐録	道芝の記	吉村日州	32	
15	10		1902	10	30	時事			37	
15	10		1902	10	30	本山録事			40	
15	10		1902	10	30	会金報告				
15	11		1902	11	30	社説	定是を確立せよ		1	
15	11		1902	11	30	学淵	意業憶念	勧学　足利義山	7	
15	11		1902	11	30	教海	真宗と戒律	吉村成覺	10	
15	11		1902	11	30	教海	壮丁及父兄に望む	千葉紹映	15	
15	11		1902	11	30	教海	質疑策	宮武教群	19	
15	11		1902	11	30	蒐録	米国開教談	西島覺了	21	
15	11		1902	11	30	蒐録	松原氏欧米談		27	
15	11		1902	11	30	蒐録	田舎より		30	
15	11		1902	11	30	時事			33	
15	11		1902	11	30	本山録事			37	
15	11		1902	11	30	会金報告				
15	12		1902	12	30	社説	歳晩の辞		1	
15	12		1902	12	30	学淵	必具名号	勧学　足利義山	4	
15	12		1902	12	30	学淵	浄土教に於ける釈迦	宮武教群	8	
15	12		1902	12	30	教海	御文に就いて	故勧学　船橋了要	11	
15	12		1902	12	30	教海	真宗と戒律	吉村成覺	14	
15	12		1902	12	30	蒐録	仰誓師道歌		23	
15	12		1902	12	30	蒐録	松原氏欧米談		25	
15	12		1902	12	30	詩藻			30	
15	12		1902	12	30	時事			31	
15	12		1902	12	30	本山録事			38	
15	12		1902	12	30	会金報告				